

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査  
在宅介護実態調査  
成年後見制度に関するアンケート調査  
鳥栖市 結果概要

令和5年7月

鳥栖市

## 目次

I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1
1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査設計及び回収結果	1
2. 回答者の基本属性・生活状況	2
(1) 基本属性	2
(2) 家族や生活状況について	3
3. 生活機能等の評価・判定結果	6
(1) 介護予防日常生活支援・総合事業対象者の該当状況	6
(2) 評価・判定結果の概要（リスク該当者割合一覧）	7
(3) 社会参加	9
4. 地域づくりや助け合いについて	10
(1) 会・グループ等への参加頻度	10
(2) 地域づくりへの参加意向	12
(3) たすけあいの状況	17
5. 認知症にかかる相談窓口の把握について	24
(1) 自分や家族に認知症の症状があるか	24
(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか	24
6. 災害時の対応について	25
(1) 台風などの災害時の避難	25
II. 在宅介護実態調査	28
1. 調査の概要	28
(1) 調査の目的	28
(2) 調査設計及び回収結果	28
2. 回答者の基本属性	29
(1) 基本属性	29
3. 家族や生活状況について	30
(1) 世帯類型	30
(2) 主な介護者	30
(3) 主な介護者の年齢	31
(4) 主な介護者が行っている介護	32
(5) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス	34
(6) 施設等への入所・入居の検討状況	36
4. 主な介護者の就労等に関する調査結果	37
(1) 主な介護者の就労状況	37
(2) 今後の介護継続意向	38
(3) 主な介護者が不安に感じる介護	39
5. 災害時や情報収集に関する調査結果	41
(1) 避難が必要な場合の避難場所	41
(2) 避難が必要な場合の避難方法	42

# I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

---

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

本調査は市内の高齢者の生活実態や課題、特にリスクが高い回答者を把握し、介護予防事業を展開していくことで、生活習慣の振り返りや健康への意識を高めることを目的とする。

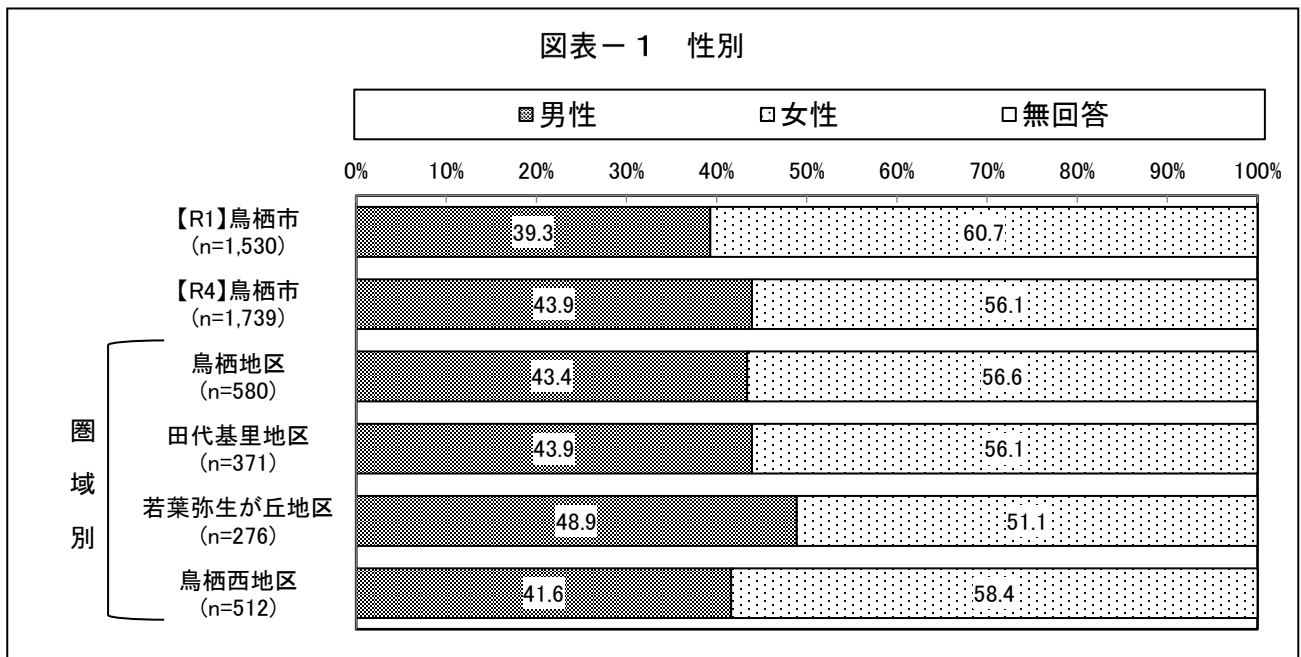
### (2) 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の高齢者： 2,400人 ※組合全体5,000人
調査方法	郵送配布－郵送回収
有効回収数 (率)	1,739人(72.5%) ※組合全体3,651人(73.0%)
実施年月	令和4年10月5日～11月18日

## 2. 回答者の基本属性・生活状況

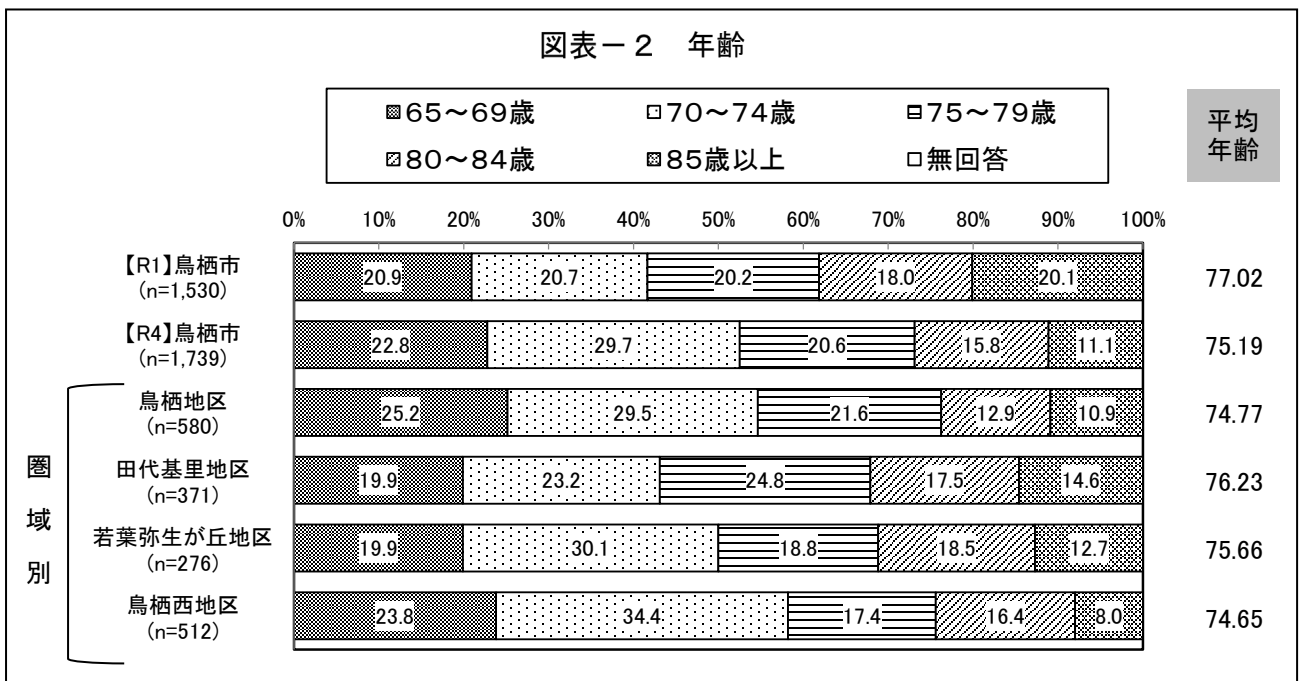
### (1) 基本属性

#### ① 性別



回答者の性別は、鳥栖市では「男性」が43.9%、「女性」が56.1%となっている。  
 圏域別にみると、若葉弥生が丘地区で「男性」の割合が48.9%と他の圏域に比べて高くなっている。

#### ② 年齢階層

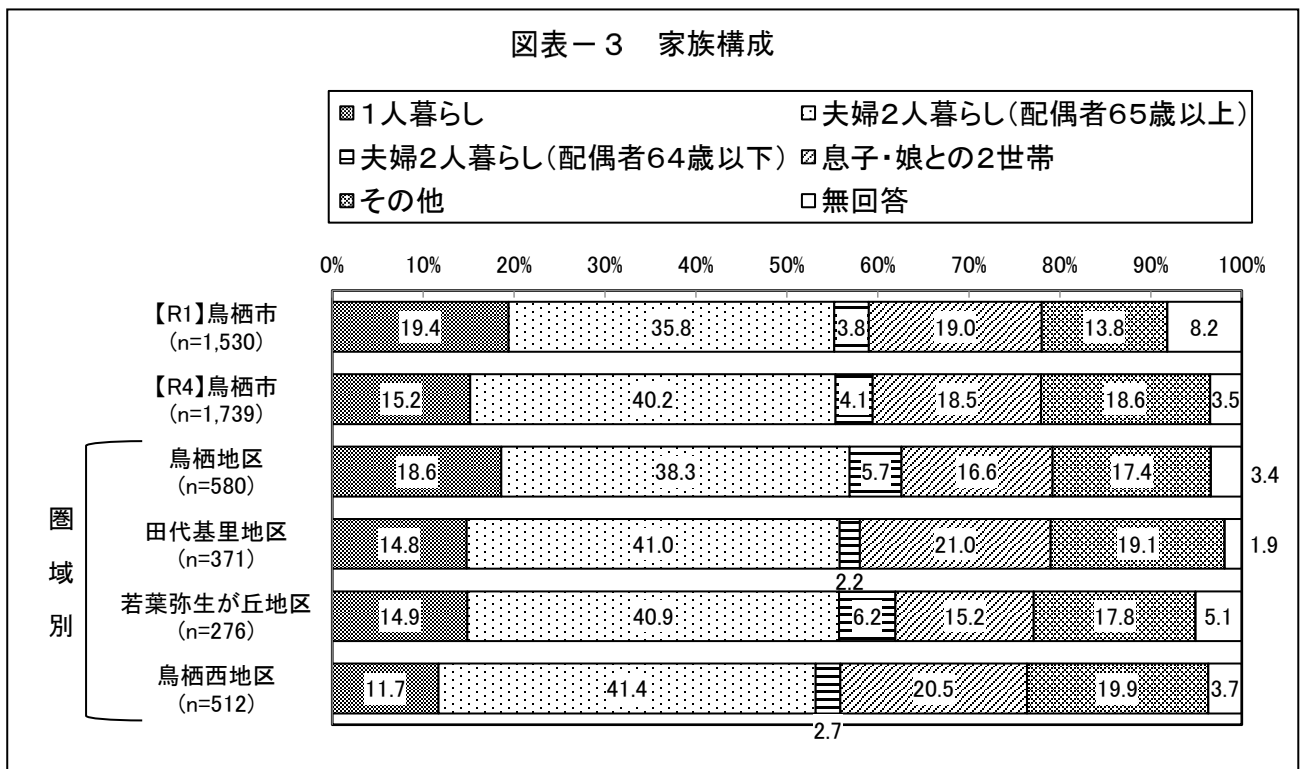


回答者の年齢は、鳥栖市では前期高齢者（74歳以下）の割合が52.5%、後期高齢者（75歳以上）の割合は47.5%となっている。

圏域別にみると、田代基里地区では後期高齢者の割合が56.9%と他の圏域に比べて高くなっている。

(2) 家族や生活状況について

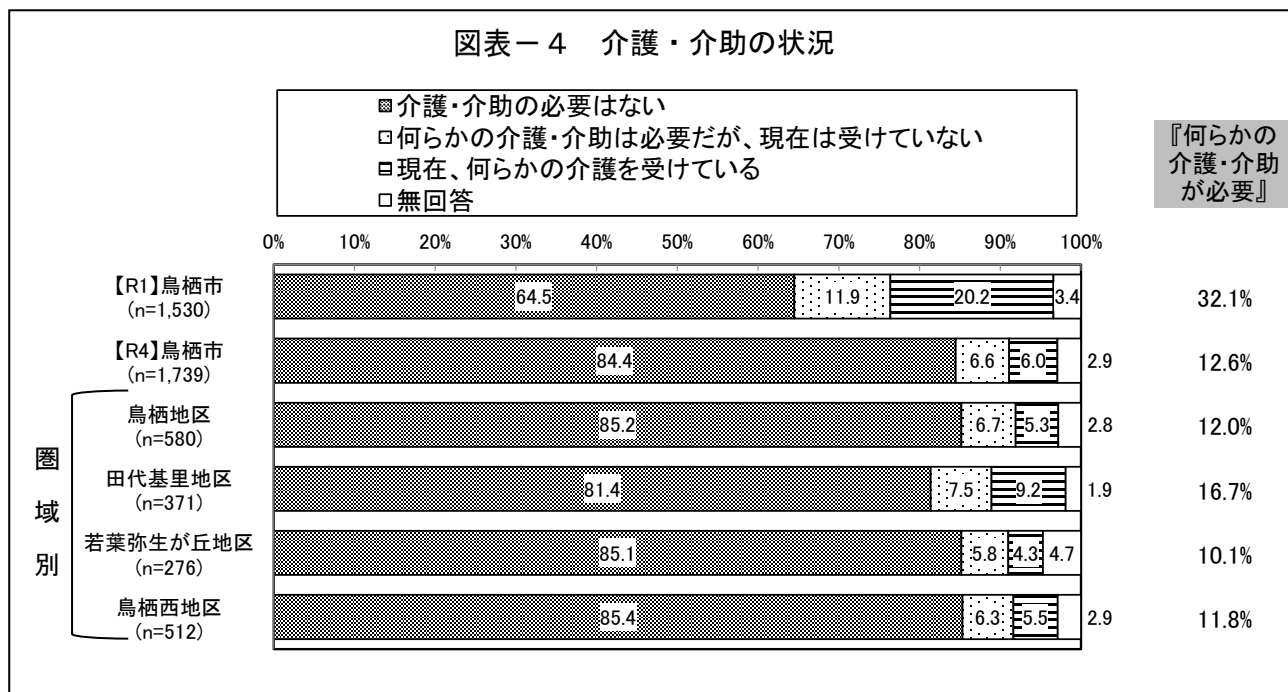
① 家族構成



家族構成は、鳥栖市では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が40.2%と最も高く、次いで「その他」(18.6%)、「息子・娘との2世帯」(18.5%)となっている。

圏域別にみると、鳥栖地区では「一人暮らし」の割合が18.6%、田代基里地区、鳥栖西地区では「息子・娘との2世帯」の割合が2割強と他の圏域に比べて高くなっている。

② 介護・介助の状況



介護・介助の状況についてたずねたところ、鳥栖市では「介護・介助の必要はない」が84.4%と最も高くなっている。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(6.6%)と「現在、何らかの介護を受けている」(6.0%)を合わせた12.6%の人が『何らかの介護・介助が必要』と回答している。

令和元年度調査と比較すると、『何らかの介護・介助が必要』の割合は19.5ポイント少なくなっている。

圏域別にみると、田代基里地区では『何らかの介護・介助が必要』の割合が16.7%と他の圏域に比べて高くなっている。

『何らかの介護・介助が必要』の割合について、介護状態区分別にみると、要介護認定を受けていない一般高齢者で9.5%となっている。

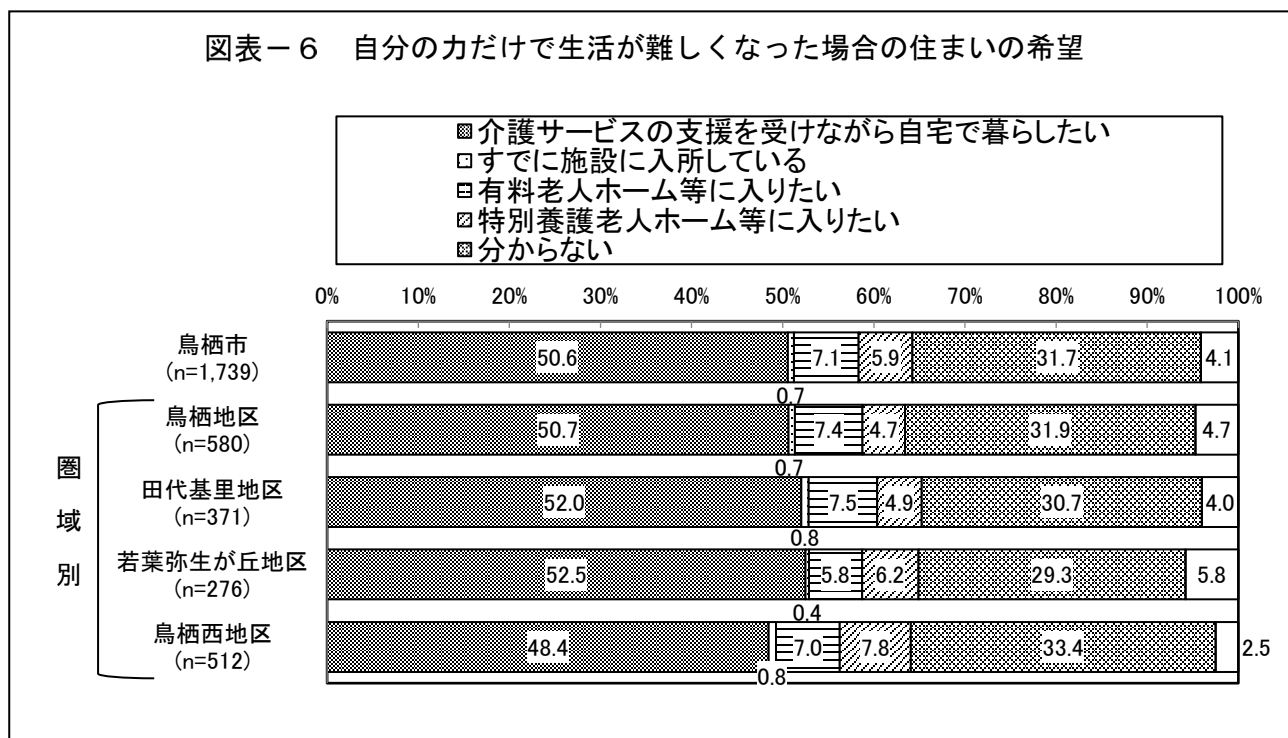
家族構成別にみると、1人暮らしで20.5%となっている。

図表－5 介護状態区分別、家族構成別 介護・介助の必要性 (%)

	調査数 (人)	介護・介助の必要性					
		は介護 い・ 介 助の 必要	在助何 ははら 受必か け要の てだ介 いが護 ない・ い現介	護現 を在 受、 け何 てら いか の介	無 回 答	介 助が 必要 の 介 護	
全体	1,739	84.4	6.6	6.0	2.9	12.6	
介護 区 分 状 態	要支援1	40	32.5	15.0	52.5	-	67.5
	要支援2	52	25.0	15.4	50.0	9.6	65.4
	事業対象者	6	16.7	16.7	50.0	16.7	66.7
	一般高齢者	1,641	87.8	6.1	3.4	2.7	9.5
家 族 構 成	1人暮らし	264	79.2	9.5	11.0	0.4	20.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	699	90.8	5.7	3.3	0.1	9.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	72	91.7	2.8	4.2	1.4	7.0
	息子・娘との2世帯	321	85.7	5.9	7.2	1.2	13.1
	その他	323	83.0	8.4	7.4	1.2	15.8
無回答	60	25.0	3.3	5.0	66.7	8.3	

③ 自分の力だけで生活が難しくなった場合の住まいの希望

図表－6 自分の力だけで生活が難しくなった場合の住まいの希望

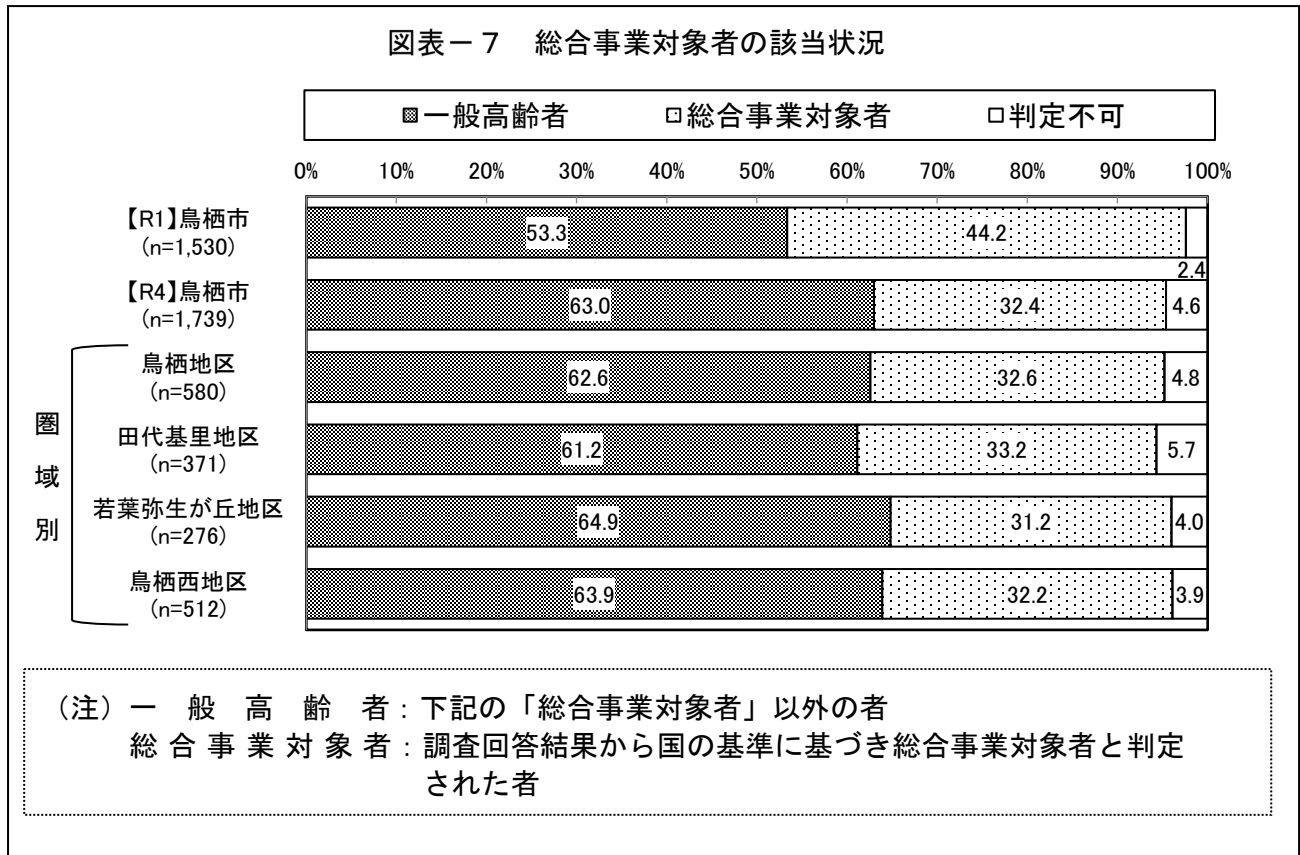


自分の力だけで生活が難しくなった場合の住まいの希望についてたずねたところ、鳥栖市では「介護サービスの支援を受けながら自宅で暮らしたい」の割合が50.6%と最も高く、次いで「分からない」(31.7%)、「有料老人ホーム等に入りたい」(7.1%)となっている。

圏域別にみると、鳥栖西地区では「介護サービスの支援を受けながら自宅で暮らしたい」の割合が48.4%と他の圏域に比べてやや低くなっている。

### 3. 生活機能等の評価・判定結果

#### (1) 介護予防日常生活支援・総合事業対象者の該当状況



回答者のうち、各種リスクの該当状況から国の基準に基づき総合事業対象者と判定された者は、鳥栖市全体で32.4%となっている。

令和元年度調査と比較すると、総合事業対象者と判定された者の割合は11.8ポイント少なくなっている。

圏域別にみると、田代基里地区で総合事業対象者が33.2%と他の圏域に比べてやや高くなっている。



(2) 評価・判定結果の概要（リスク該当者割合一覧）

図表－8 生活機能に係るリスク該当者の割合

		調査数 〔人〕	生活機能							(%)
			虚弱	運動器	転倒	閉じこもり	栄養	口腔	認知症	うつ
			(該当 10点以上)	(該当 3点以上)	(該当 1点以上)	(該当 1点以上)	(該当 2点以上)	(該当 2点以上)	(該当 1点以上)	(該当 1点以上)
【R1】鳥栖市		1,530	18.9	30.8	38.9	20.4	2.6	29.1	57.8	41.4
【R4】鳥栖市		1,739	8.6	15.4	29.7	16.2	1.7	24.3	53.7	36.3
性・年齢	【男性 計】	763	8.5	10.7	27.3	14.0	1.6	24.4	55.8	31.2
	65～69歳	173	1.7	3.5	20.2	8.1	—	15.6	50.3	26.0
	70～74歳	233	4.7	4.7	24.5	9.9	1.3	24.5	51.9	29.2
	75～79歳	156	7.7	9.6	23.1	10.9	2.6	23.1	59.0	34.0
	80～84歳	122	11.5	20.5	36.9	20.5	2.5	27.9	63.1	36.1
	85歳以上	79	31.6	31.6	44.3	35.4	2.5	40.5	62.0	35.4
	【女性 計】	976	8.7	19.0	31.7	17.8	1.7	24.3	52.0	40.3
	65～69歳	224	2.7	4.5	22.8	10.7	1.3	17.0	44.6	36.6
	70～74歳	283	4.9	12.0	25.4	11.7	1.1	17.3	51.2	39.6
	75～79歳	202	6.9	20.3	35.1	17.8	1.0	27.2	50.5	43.6
	80～84歳	153	14.4	34.6	43.8	23.5	2.0	33.3	55.6	41.2
85歳以上	114	25.4	41.2	42.1	39.5	5.3	38.6	66.7	42.1	
日常 生活 圏	鳥栖地区	580	9.1	15.5	31.0	16.4	2.6	24.0	53.4	36.2
	田代基里地区	371	11.6	15.9	30.5	18.6	1.1	25.3	58.5	39.4
	若葉弥生が丘地区	276	5.8	13.0	25.4	14.5	0.7	24.6	50.7	35.5
	鳥栖西地区	512	7.4	16.0	30.1	15.0	1.6	23.8	52.1	34.6

■ 【R4】鳥栖市全体に比べて、リスク該当者の割合が高い(+3ポイント以上)

国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、高齢者の生活機能や日常生活・社会参加について評価・判定を行うことができる。

生活機能のリスク該当者の割合をみると、鳥栖市では「認知症予防」(53.7%)、「うつ予防」(36.3%)、「転倒」(29.7%)の順で高くなっている。また、組合全体と比べると大きな差はみられない。

令和元年度調査と比較するとリスク該当者の割合は全体的に減少しているが、回答者の現在の介護・介助の状況で、『何らかの介護・介助が必要』の割合が令和元年度調査に比べて19.5ポイント少ないことも影響していると考えられる。

性・年齢別にみると、男女ともに80歳以上では多くの項目が鳥栖市全体と比べて、3ポイント以上高くなっており、特に女性の85歳以上ではすべての項目で高くなっている。

圏域別にみると、田代基里地区では「虚弱」「認知症」「うつ」のリスク該当者の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

図表－9 日常生活・社会参加指標に係る低下者の割合

(%)

	調査数「人」	日常生活・社会参加				
		手段的自立度 (IADL)	知的能動性	社会的役割	老研指標総合評価	
		(低下4点以下)	(低下3点以下)	(低下3点以下)	(低下10点以下)	
<b>【R1】鳥栖市</b>	<b>1,530</b>	<b>27.2</b>	<b>44.7</b>	<b>61.7</b>	<b>37.9</b>	
<b>【R4】鳥栖市</b>	<b>1,739</b>	<b>16.8</b>	<b>46.6</b>	<b>63.6</b>	<b>34.7</b>	
性・年齢	【男性 計】	763	22.3	48.3	65.7	37.1
	65～69歳	173	10.4	53.1	72.8	38.8
	70～74歳	233	17.6	46.4	61.4	30.9
	75～79歳	156	24.4	47.4	65.4	38.4
	80～84歳	122	32.8	44.3	58.1	35.2
	85歳以上	79	41.8	50.6	75.9	51.9
	【女性 計】	976	12.5	45.3	61.8	32.8
	65～69歳	224	3.1	47.3	57.6	26.4
	70～74歳	283	6.3	45.9	57.9	30.0
	75～79歳	202	12.8	40.1	58.9	30.7
	80～84歳	153	23.5	41.2	66.7	35.9
85歳以上	114	30.7	54.4	78.0	51.8	
日常生活圏域	鳥栖地区	580	17.1	46.6	65.2	37.9
	田代基里地区	371	19.4	49.5	62.5	32.6
	若葉弥生が丘地区	276	14.8	44.6	67.0	34.8
	鳥栖西地区	512	15.6	45.5	60.6	32.4

【R4】鳥栖市全体に比べて、低下者の割合が高い(+3ポイント以上)

「手段的自立度 (IADL)」：外出や買物、食事等の日常生活を自立して行う能力  
「知的能動性」：新聞、本、雑誌で知りたい情報を得る等、知的活動の能動性  
「社会的役割」：家族・友人や他人との会話等、社会参加への能動性  
「老研指標総合評価」：「手段的自立度 (IADL)」、「知的能動性」、「社会的役割」の3指標を総合した評価

日常生活・社会参加指標の低下者の割合をみると、鳥栖市では「社会的役割」の低下者が6割強となっている。

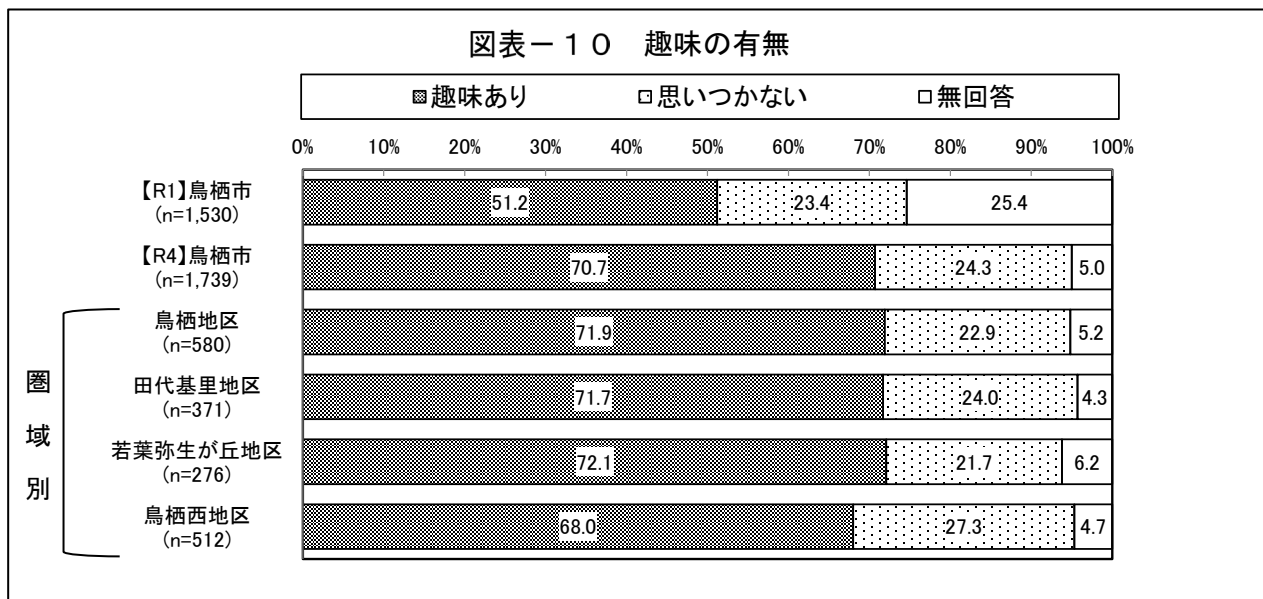
令和元年度調査と比較すると、「知的能動性」「社会的役割」の低下者がやや増加している。

性・年齢別にみると、男女ともに85歳以上では、すべての項目で鳥栖市全体と比べて低下者の割合が3ポイント以上高くなっており、「知的能動性」以外は、鳥栖市全体よりも10ポイント以上高くなっている。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「社会的役割」の低下者の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

### (3) 社会参加

#### ① 趣味の有無

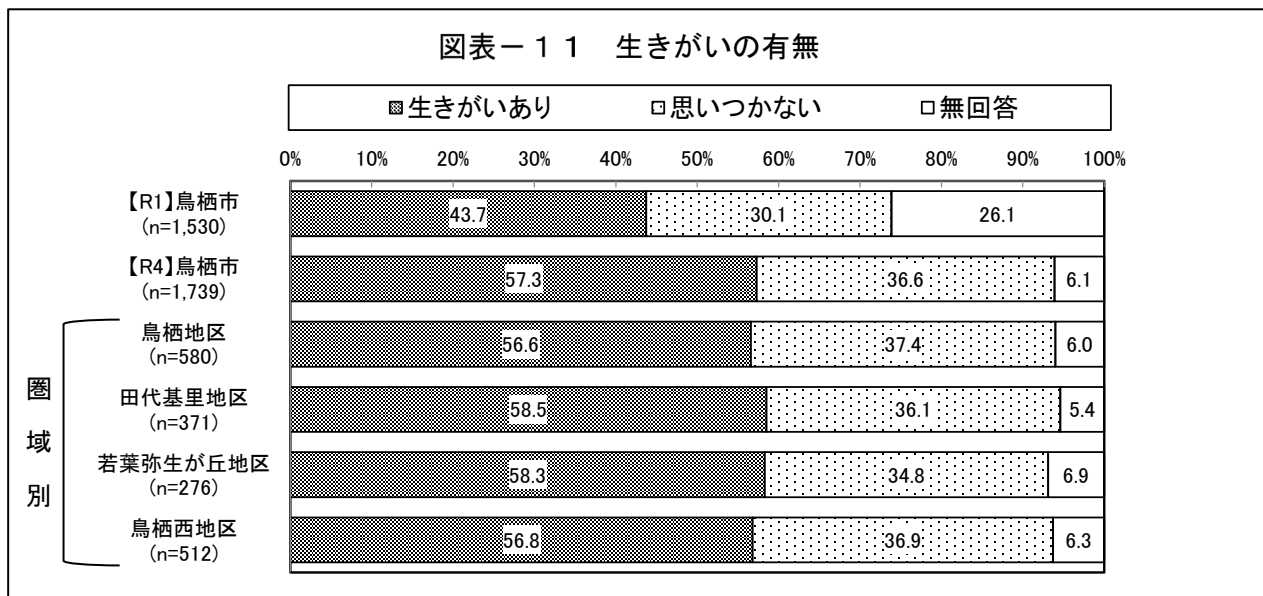


趣味の有無についてたずねたところ、鳥栖市では「趣味あり」の割合が70.7%となっており、組合全体と同様となっている。

令和元年度調査と比較すると、「趣味あり」の割合は19.5ポイント増加しているが、令和元年度調査では25.4%が無回答であったことにも留意が必要である。（※令和4年度調査では、書き漏れがないように調査票のレイアウト等を見やすくする等の改善を実施した。）

圏域別にみると、鳥栖西地区では「趣味あり」の割合が68.0%と他の圏域に比べて低くなっている。

#### ② 生きがいの有無



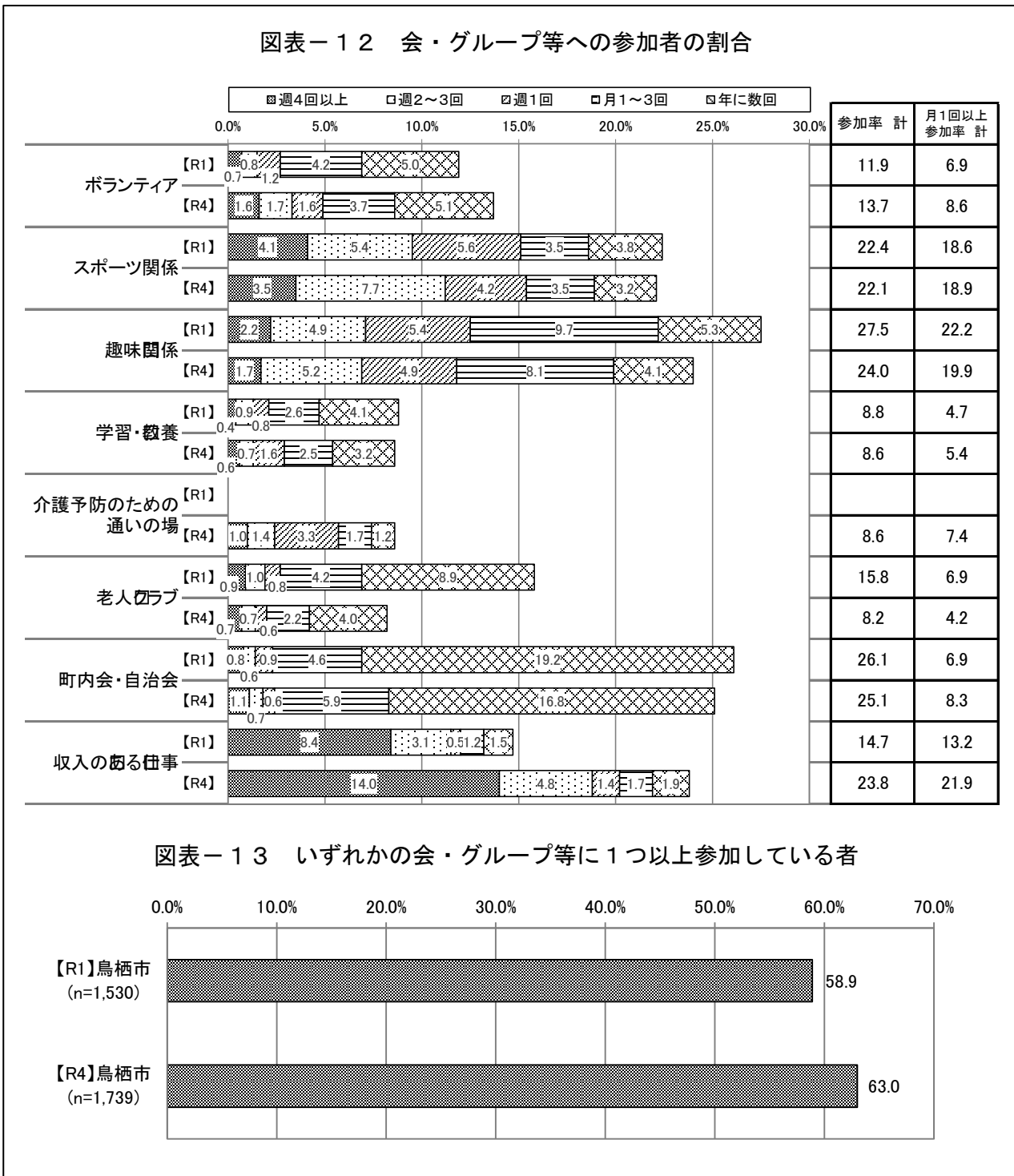
生きがいの有無についてたずねたところ、鳥栖市では「生きがいあり」の割合が57.3%となっており、組合全体とほぼ同様となっている。

令和元年度調査と比較すると、「生きがいあり」の割合は13.6ポイント増加しているが、令和元年度調査では26.1%が無回答であったことにも留意が必要である。

圏域別にみると、田代基里地区、若葉弥生が丘地区では「生きがいあり」の割合が他の圏域に比べてやや高くなっている。

## 4. 地域づくりや助け合いについて

### (1) 会・グループ等への参加頻度



会やグループ等への参加頻度について、『月1回以上』の参加者の割合をみると、鳥栖市では「収入のある仕事」「趣味関係」「スポーツ関係」の割合が約2割と高くなっている。

上記の8項目の会・グループのうち、いずれか1つ以上に参加している者の割合は63.0%となっている。

令和元年度調査と比べると、「趣味関係」「老人クラブ」以外では、『月1回以上』の参加者の割合は増加している。また、いずれかの会・グループに1つ以上参加している者の割合も増加しているが、これらは回答者の現在の介護・介助の状況で、『何らかの介護・介助が必要』の割合が令和元年度調査に比べて19.5ポイント少ないことも影響していると考えられる。

性・年齢別にみると、「町内会・自治会」や「収入のある仕事」では、すべての年齢層で男性が女性よりも割合が高くなっており、「介護予防のための通いの場」では、すべての年齢層で女性が男性よりも割合が高くなっている。

圏域別にみると、田代基里地区では「趣味関係」の割合が22.3%と他の圏域に比べてやや高くなっている。

図表－14 性・年齢別、日常生活圏域別 『月1回以上』参加したことがある人の割合

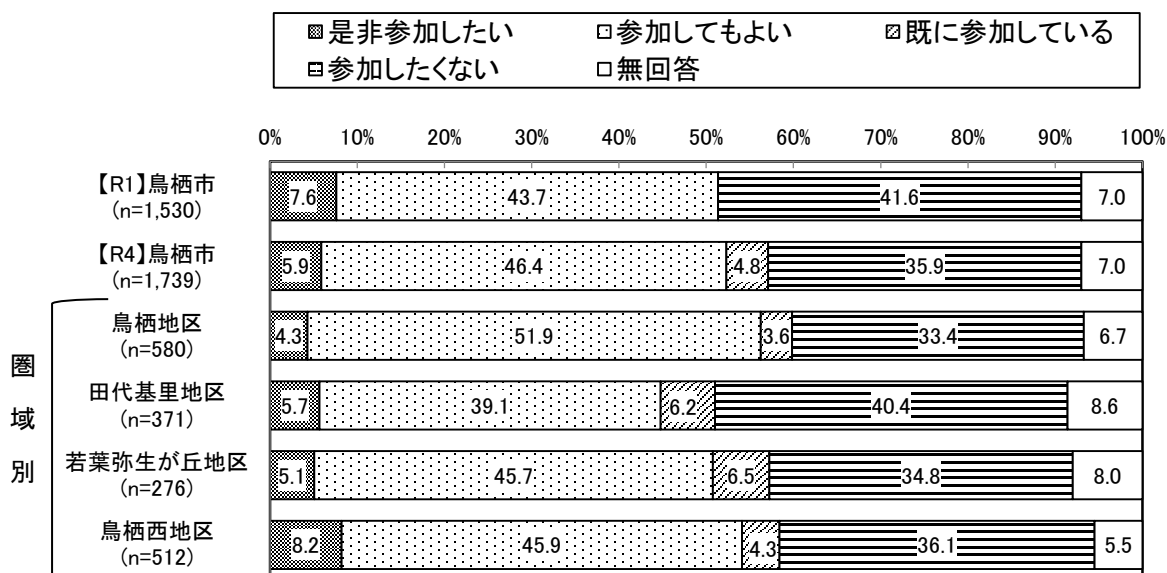
		調査数 〔人〕	『月1回以上』参加したことがある人の割合							
			ボラン ティア	スポー ツ関係	趣味 関係	学習・ 教養	介護予 防のため の通いの 場	老人 クラブ	町内 会・自 治会	収入の ある 仕事
性・ 年齢	【男性 計】	763	10.7	19.7	16.9	3.8	5.1	5.5	13.5	28.3
	65～69歳	173	4.7	15.6	9.8	2.3	0.6	-	15.1	49.1
	70～74歳	233	12.1	21.6	19.8	3.8	5.6	5.1	16.7	37.3
	75～79歳	156	13.4	19.2	17.3	3.8	4.5	5.1	8.4	20.5
	80～84歳	122	13.1	20.5	22.9	5.7	8.3	11.5	13.1	8.2
	85歳以上	79	10.1	22.8	13.9	3.9	10.1	10.2	11.4	2.5
	【女性 計】	976	6.8	18.2	22.0	6.7	9.0	3.3	4.4	16.8
	65～69歳	224	7.1	12.9	20.1	8.4	1.7	0.4	5.8	36.6
	70～74歳	283	10.3	22.7	26.1	8.8	7.1	1.9	5.3	19.1
	75～79歳	202	5.0	23.3	25.8	4.5	13.4	5.0	4.0	10.0
	80～84歳	153	5.4	15.7	22.2	5.3	11.8	7.2	4.0	5.9
85歳以上	114	3.6	11.4	9.7	3.5	17.6	5.4	0.9	-	
日 常 生 活 圏 域	鳥栖地区	580	9.1	20.2	19.8	5.7	5.7	4.5	7.5	23.4
	田代基里地区	371	6.4	18.1	22.3	3.2	9.5	4.5	9.2	19.5
	若葉弥生が丘地区	276	6.4	18.0	18.4	6.2	8.3	2.5	7.2	23.2
	鳥栖西地区	512	10.3	17.9	18.8	6.3	7.3	4.9	9.6	21.5

■ 【R4】鳥栖市全体に比べて、月1回以上参加者の割合が高い(+3ポイント)

(2) 地域づくりへの参加意向

問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

図表-15 地域づくりへの参加意向（参加者として）



※R1年度の調査では「既に参加している」という選択肢がありませんでした

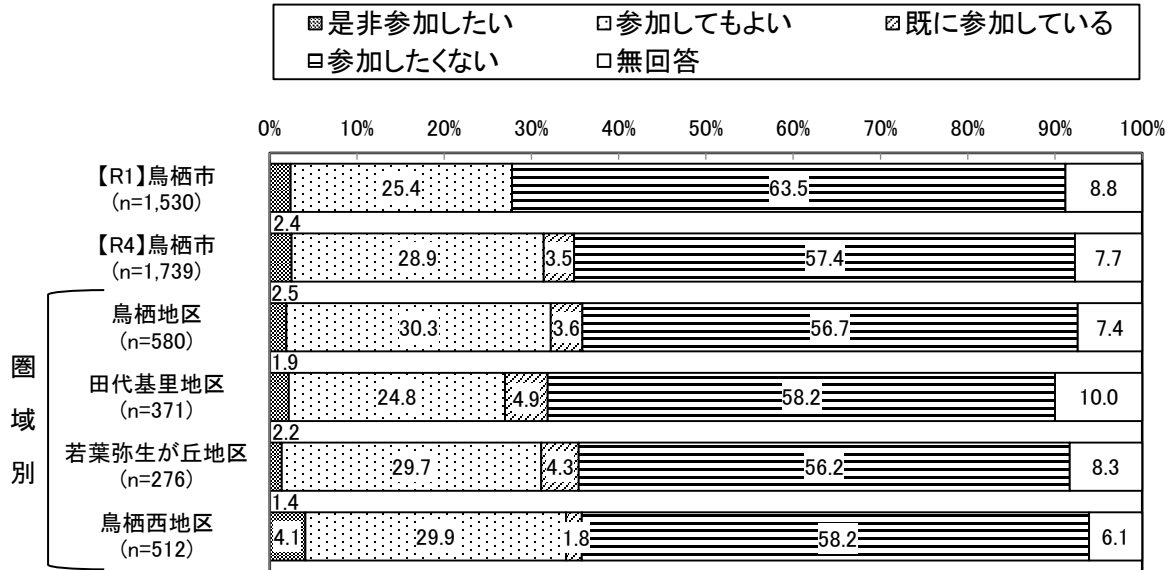
地域づくりへの『参加者として』の参加意向は、鳥栖市では「参加してもよい」の割合が46.4%と最も高く、次いで「参加したくない」(35.9%)、「是非参加したい」(5.9%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「是非参加したい」の割合はやや減少している。

圏域別にみると、鳥栖地区では「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた割合が56.2%と他の圏域に比べて高くなっている。

問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

図表-16 地域づくりへの参加意向(お世話役として)



※R1年度の調査では「既に参加している」という選択肢がありませんでした

地域づくりへの『お世話役として』の参加意向は、鳥栖市では「参加したくない」の割合が57.4%と最も高く、「参加してもよい」(28.9%)、「既に参加している」(3.5%)となっている。

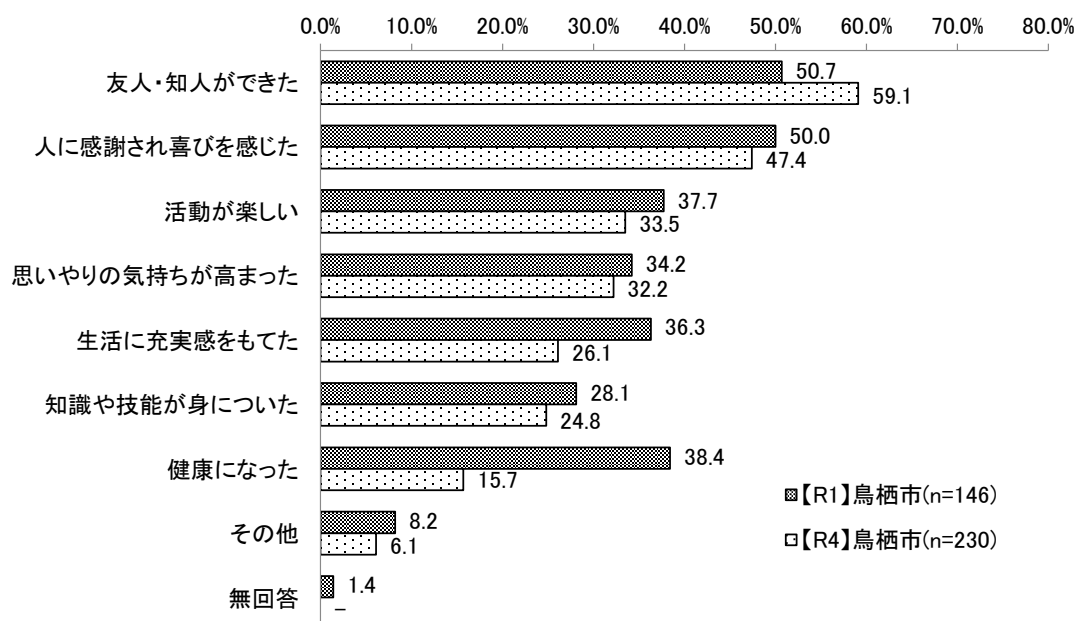
令和元年度調査と比較すると、「是非参加したい」の割合はほぼ変わらないが、「参加してもよい」の割合は3.5ポイント増加している。

圏域別にみると、田代基里地区では「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた割合が27.0%と他の圏域に比べて低くなっている。

【地域でボランティア活動をしている方のみご記入ください】

問5（4） あなたにとってボランティア活動をしてどのようなことが良かったと思いますか（いくつでも）

図表－17 ボランティア活動をして良かったこと



ボランティア活動をして良かったことは、鳥栖市では「友人・知人ができた」の割合が59.1%と最も高く、次いで「人に感謝され喜びを感じた」(47.4%)、「活動が楽しい」(33.5%)となっている。

令和元年度調査調査と比較すると、「友人・知人ができた」の割合が8.4ポイント増加している。圏域別にみると、鳥栖地区では「生活に充実感をもてた」が32.4%と他の圏域に比べて高くなっている。

図表－18 圏域別 ボランティア活動をして良かったこと（%）

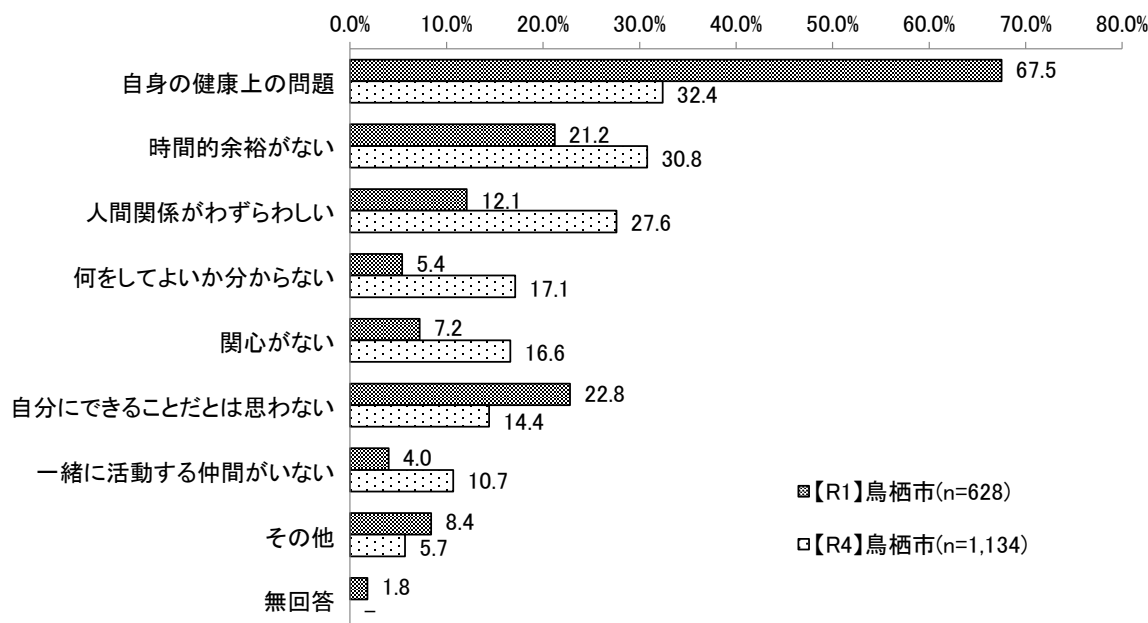
	調査数（人）	ボランティア活動をして良かったこと									
		友人・知人ができた	生活に充実感をもてた	知識や技能が身についた	活動が楽しい	思いやりの気持ちが高まった	健康になった	人に感謝され喜びを感じた	その他	無回答	
全体	230	59.1	26.1	24.8	33.5	32.2	15.7	47.4	6.1	-	
圏域別 日常生活	鳥栖地区	74	63.5	32.4	28.4	39.2	33.8	10.8	37.8	9.5	-
	田代基里地区	47	63.8	25.5	31.9	31.9	12.8	48.9	2.1	-	
	若葉弥生が丘地区	33	51.5	21.2	18.2	36.4	21.2	51.5	9.1	-	
	鳥栖西地区	76	55.3	22.4	19.7	27.6	35.5	19.7	53.9	3.9	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



【ボランティア活動をしたくないとお考えの方のみご記入ください】

問5 (5) あなたがボランティア活動をしたくない理由は何ですか (3つまで可)

図表-19 ボランティア活動をしたくない理由



ボランティア活動をしたくない理由は、鳥栖市では「自身の健康上の問題」の割合が32.4%と最も高く、次いで「時間的余裕がない」(30.8%)、「人間関係がわずらわしい」(27.6%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「時間的余裕がない」「人間関係がわずらわしい」「何をしてもよいか分からない」「関心がない」の割合が増加している。

圏域別にみると、田代基里地区では「自身の健康上の問題」の割合が4割弱と他の圏域と比べて高くなっている。

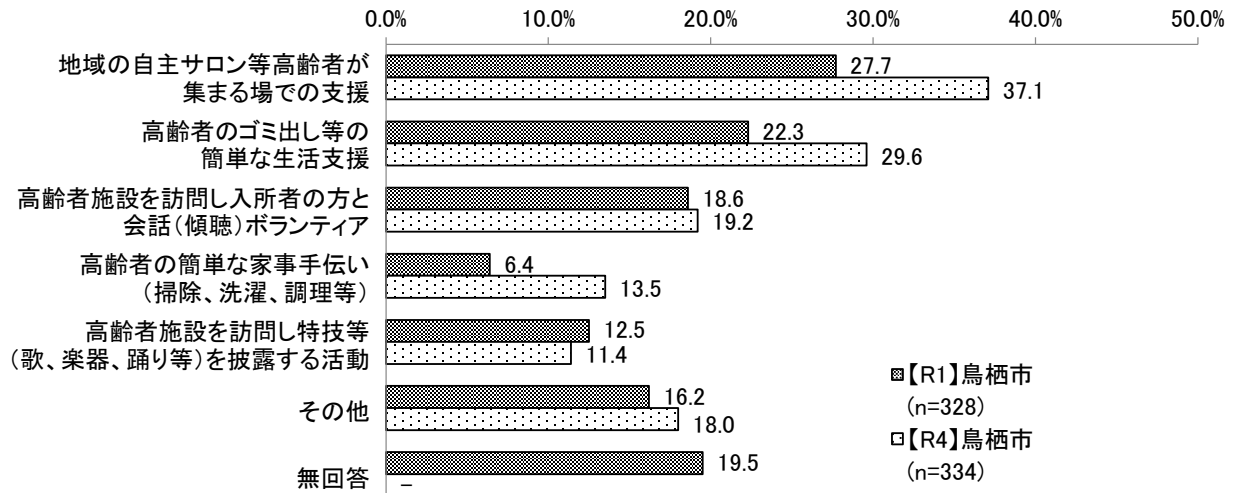
図表-20 圏域別 ボランティア活動をしたくない理由 (%)

	調査数 (人)	ボランティアしたくない理由									
		時間的余裕がない	自身の健康上の問題	一緒に活動する仲間がいない	人間関係がわずらわしい	自分には思われないこと	何をしてもよいか分からない	関心がない	その他	無回答	
全体	1,134	30.8	32.4	10.7	27.6	14.4	17.1	16.6	5.7	-	
圏域別 日常生活	鳥栖地区	373	32.7	28.7	8.6	29.2	10.7	13.4	19.0	5.4	-
	田代基里地区	243	29.6	39.5	9.1	25.9	17.3	17.7	13.6	6.2	-
	若葉弥生が丘地区	182	31.3	30.2	12.1	23.6	19.2	19.8	18.7	5.5	-
	鳥栖西地区	336	29.2	32.4	13.4	29.2	13.7	19.3	14.9	6.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【すでにボランティア活動をしている、若しくは活動したいとお考えの方のみご記入ください】

問5（6） あなたが参加してみたいと思う主なボランティア活動は何ですか（いくつでも）

図表－21 参加してみたいボランティア活動



参加してみたいボランティア活動は、鳥栖市では「地域の自主サロン等高齢者が集まる場での支援」の割合が37.1%と最も高く、次いで「高齢者のゴミ出し等の簡単な生活支援」(29.6%)、「高齢者施設を訪問し入所者の方と会話(傾聴)ボランティア」(19.2%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「地域の自主サロン等高齢者が集まる場での支援」の割合は9.4ポイント、「高齢者のゴミ出し等の簡単な支援」は7.3ポイント増加している。

圏域別にみると、鳥栖地区では「高齢者施設を訪問し入所者の方と会話(傾聴)ボランティア」の割合が25.8%と他の圏域に比べて高くなっている。

図表－22 圏域別 参加してみたいボランティア活動(%)

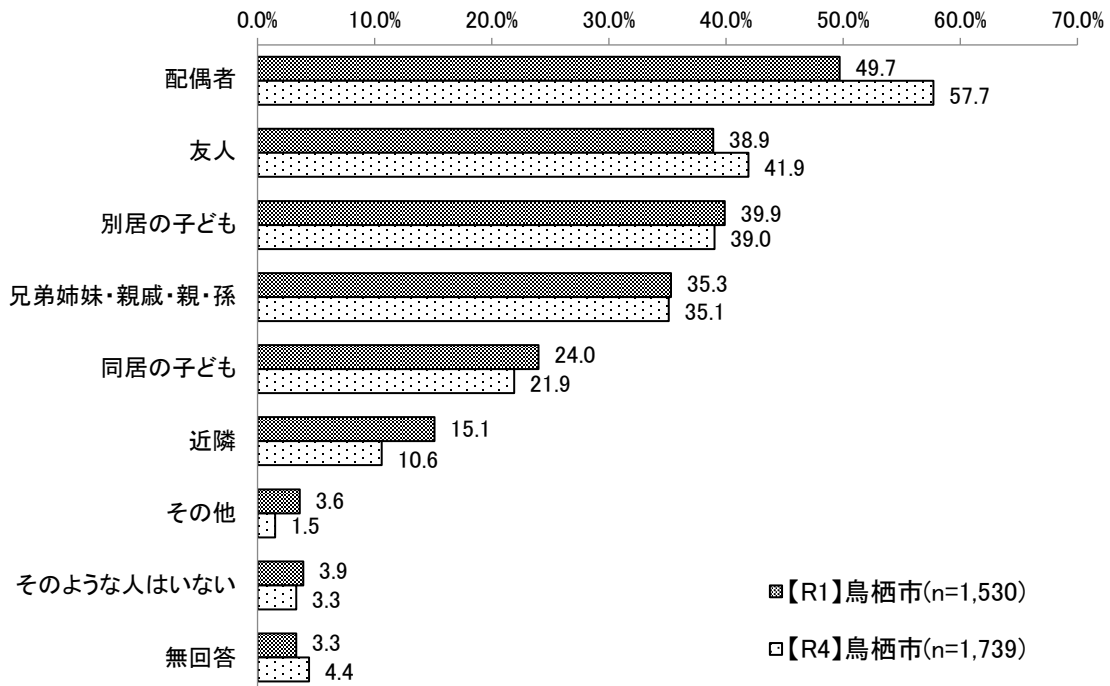
調査数(人)	参加してみたいボランティア									
	聴(者)ボランテイヤ(傾)	所(者)方と会話(傾)	高(者)施設を訪問し入	等(者)を披露する活動	技(者)施設を訪問し踊り特	高(者)のゴミ出し等の	理(等)伝(者)の掃除、洗濯、調理	援(者)が高齢者が集まる場での支援	地(域)の自主サロンの等	そ(他)
全体	334	19.2	11.4	29.6	13.5	37.1	18.0	-		
日常生活圏域	鳥栖地区	120	25.8	9.2	25.0	15.8	33.3	20.8	-	
	田代基里地区	64	14.1	15.6	31.3	9.4	37.5	17.2	-	
	若葉弥生が丘地区	52	9.6	15.4	36.5	11.5	40.4	19.2	-	
	鳥栖西地区	98	19.4	9.2	30.6	14.3	39.8	14.3	-	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) たすけあいの状況

① 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

図表-23 心配事や愚痴を聞いてくれる人(複数回答)



心配事や愚痴を『聞いてくれる人』は、鳥栖市では「配偶者」の割合が57.7%と最も高く、次いで「友人」(41.9%)、「別居の子ども」(39.0%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「配偶者」の割合は8.0ポイント増加している。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「配偶者」の割合が6割強と他の圏域に比べて高くなっている。

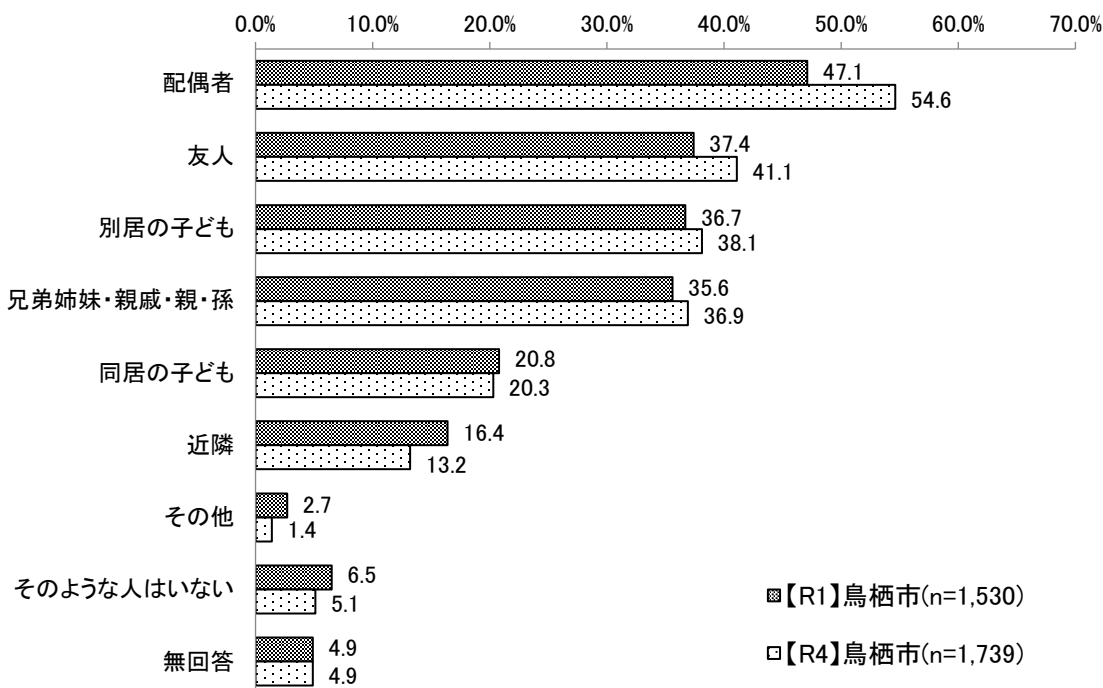
図表-24 圏域別 心配事や愚痴を聞いてくれる人

	調査数「人」	心配事や愚痴を聞いてくれる人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそのないような人は	無回答	
鳥栖市全体	1,739	57.7	21.9	39.0	35.1	10.6	41.9	1.5	3.3	4.4	
日圏常域生活	鳥栖地区	580	56.6	19.8	37.1	33.6	8.8	44.5	1.9	3.3	4.5
	田代基里地区	371	56.9	24.8	41.5	36.7	13.2	41.0	2.2	3.2	5.1
	若葉弥生が丘地区	276	60.9	18.8	42.4	39.9	8.3	40.9	1.1	1.8	4.0
	鳥栖西地区	512	57.8	23.8	37.5	33.0	11.9	40.2	0.8	4.1	3.9

② 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

図表-25 心配事や愚痴を聞いてあげる人(複数回答)



心配事や愚痴を『聞いてあげる人』は、鳥栖市では「配偶者」の割合が54.6%と最も高く、次いで「友人」(41.1%)、「別居の子ども」(38.1%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「配偶者」の割合は7.5ポイント増加している。

圏域別にみると若葉弥生が丘地区では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が41.7%と他の圏域に比べて高くなっている。

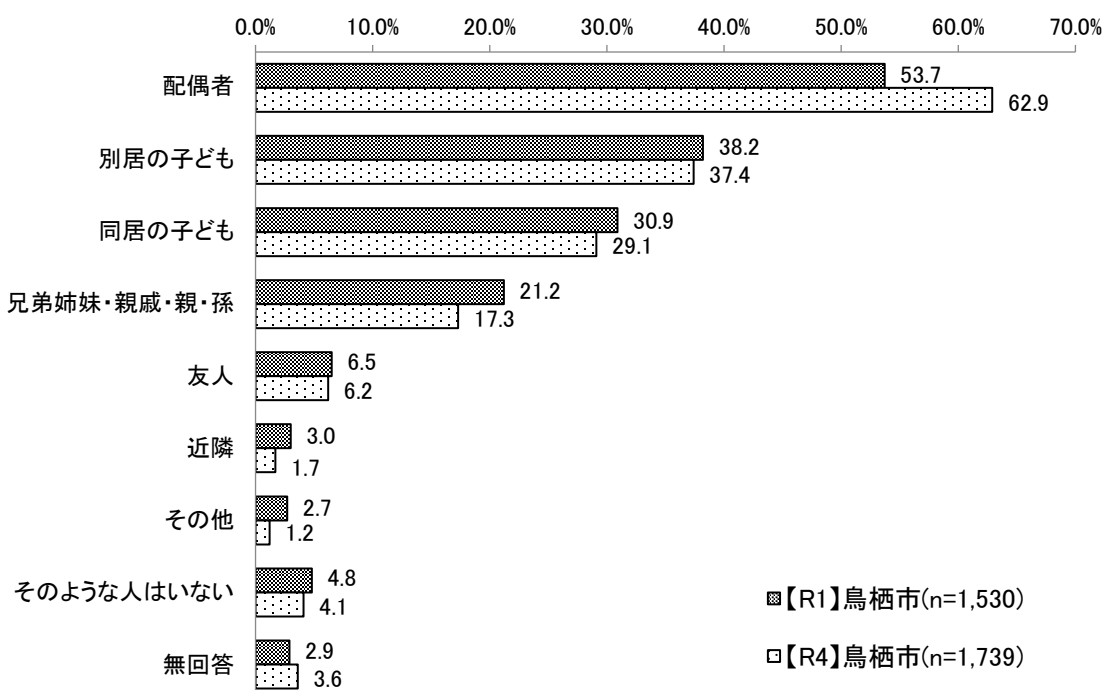
図表-26 圏域別 心配事や愚痴を聞いてあげる人

	調査数 「人」	心配事や愚痴を聞いてあげる人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそないうような人は	無回答	
鳥栖市全体	1,739	54.6	20.3	38.1	36.9	13.2	41.1	1.4	5.1	4.9	
日 常 生 活 圏 域	鳥栖地区	580	53.3	18.4	36.2	36.4	11.2	43.8	2.1	5.7	4.5
	田代基里地区	371	54.2	22.6	41.0	33.7	15.6	40.2	2.2	5.1	5.9
	若葉弥生が丘地区	276	58.3	18.5	41.3	41.7	11.6	42.8	1.4	2.9	4.0
	鳥栖西地区	512	54.5	21.7	36.3	37.1	14.6	37.7	-	5.5	5.1

③ 看病や世話をしてくれる人

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

図表－27 看病や世話をしてくれる人（複数回答）



病気になったときに『看病や世話をしてくれる人』は、鳥栖市では「配偶者」の割合が62.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」(37.4%)、「同居の子ども」(29.1%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「配偶者」の割合は9.2ポイント増加している。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が21.0%と他の圏域に比べて高くなっている。

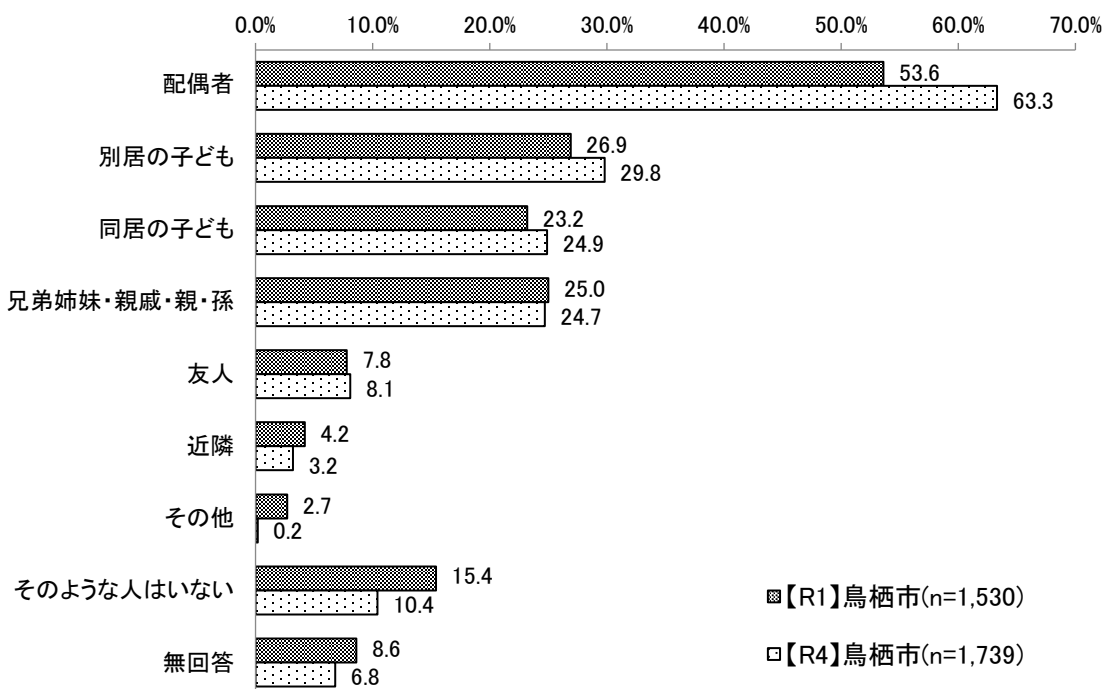
図表－28 圏域別 看病や世話をしてくれる人

	調査数 「人」	看病や世話をしてくれる人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・親戚・姉妹・孫	近隣	友人	その他	いそがないような人は	無回答	
鳥栖市全体	1,739	62.9	29.1	37.4	17.3	1.7	6.2	1.2	4.1	3.6	
日 圏 常 域 生 活	鳥栖地区	580	61.2	25.2	34.7	16.7	1.4	7.1	1.6	4.1	3.6
	田代基里地区	371	64.2	34.0	39.6	15.1	1.9	4.9	0.8	5.7	4.0
	若葉弥生が丘地区	276	63.4	26.1	38.8	21.0	1.8	6.5	0.4	3.6	2.9
	鳥栖西地区	512	63.5	31.6	38.1	17.6	1.8	5.9	1.6	3.1	3.5

④ 看病や世話をしあける人

問6 (4) 反対に、看病や世話をしあける人 (いくつでも)

図表-29 看病や世話をしあける人 (複数回答)



病気になったときに『看病や世話をしあける人』は、鳥栖市では「配偶者」の割合が63.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」(29.8%)、「同居の子ども」(24.9%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「配偶者」の割合は9.7ポイント増加している。

圏域別にみると、田代基里地区では「別居の子ども」が34.5%と他の圏域に比べて高くなっている。

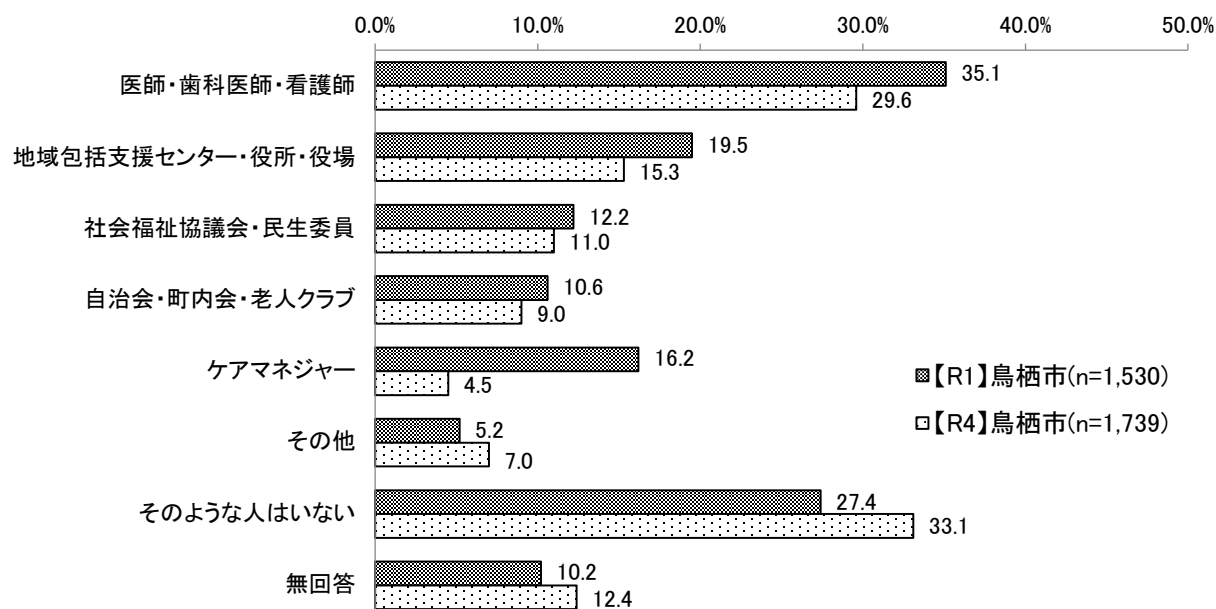
図表-30 圏域別 看病や世話をしあける人

	調査数 「人」	看病や世話をしあける人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそのような人はいない	無回答	
鳥栖市全体	1,739	63.3	24.9	29.8	24.7	3.2	8.1	0.2	10.4	6.8	
日 常 生 活 圏 域	鳥栖地区	580	60.9	22.6	27.6	23.3	2.8	7.9	0.5	11.4	6.2
	田代基里地区	371	62.3	27.2	34.5	25.3	3.5	7.8	0.3	11.3	6.7
	若葉弥生が丘地区	276	65.6	23.2	30.1	27.9	3.6	9.1	-	7.6	7.6
	鳥栖西地区	512	65.4	26.8	28.7	24.0	3.3	8.0	-	10.2	7.2

⑤ 家族や友人・知人以外の相談相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください  
(いくつでも)

図表-31 家族や友人・知人以外の相談相手 (複数回答)



家族や友人・知人以外の相談相手について、鳥栖市では「そのような人はいない」の割合が33.1%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(29.6%)、「地域包括センター・役所・役場」(15.3%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「そのような人はいない」の割合は5.7ポイント増加している。

圏域別にみると、鳥栖地区では「医師・歯科医師・看護師」の割合が33.8%、田代基里地区では「社会福祉協議会・民生委員」の割合が14.6%と他の圏域に比べて高くなっている。

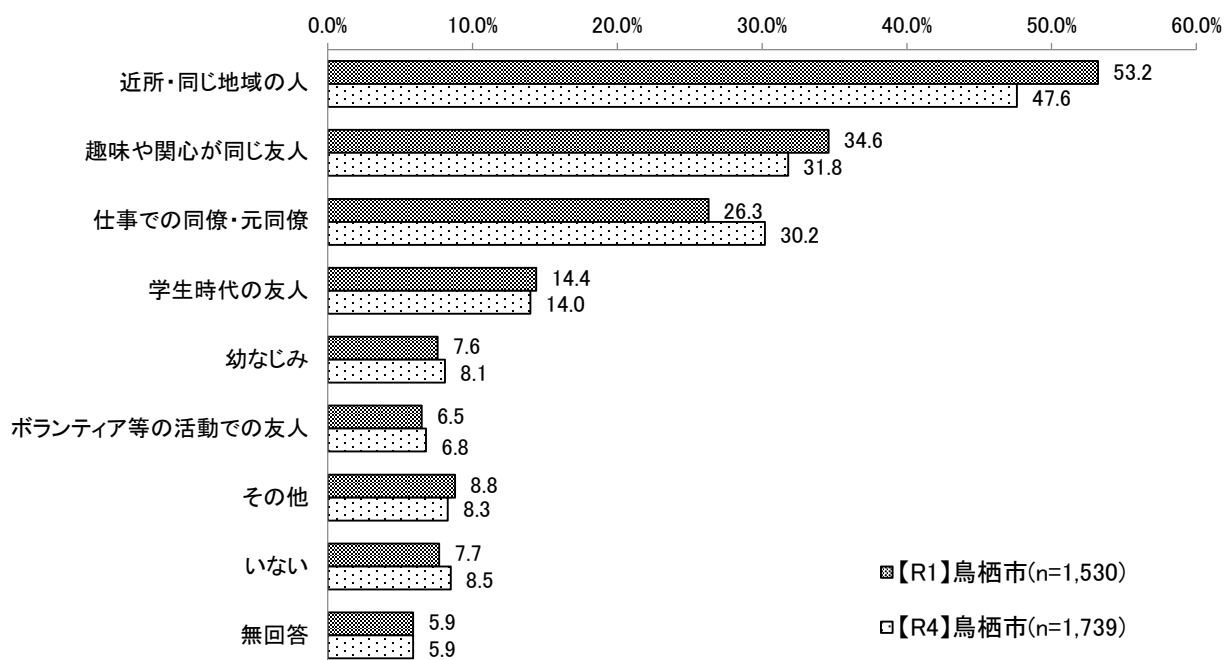
図表-32 圏域別 家族や友人・知人以外の相談相手

	調査数「人」	家族や友人・知人以外の相談相手								
		老人自治会・町内会・クラブ	民生社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	看護師・歯科医師	医師・歯科医師・看護師	役所・地域包括支援センター	その他	いそのような人はいない	無回答
鳥栖市全体	1,739	9.0	11.0	4.5	29.6	15.3	7.0	33.1	12.4	
日 常 生 活 圏 域	鳥栖地区	580	6.2	9.7	5.5	33.8	15.5	7.8	32.4	11.9
	田代基里地区	371	12.4	14.6	4.6	26.4	14.6	6.2	33.7	11.3
	若葉弥生が丘地区	276	8.3	10.1	2.9	29.0	17.8	7.6	33.7	13.4
	鳥栖西地区	512	10.0	10.4	4.1	27.3	14.3	6.4	33.0	13.1

⑥ よく会う友人・知人との関係

問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

図表-33 よく会う友人・知人との関係 (複数回答)



よく会う友人・知人との関係は、鳥栖市では「近所・同じ地域の人」の割合が47.6%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(31.8%)、「仕事での同僚・元同僚」(30.2%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「近所・同じ地域の知人」の割合は5.6ポイント減少している。

圏域別にみると、田代基里地区、鳥栖西地区では「近所・同じ地域の人」の割合が5割台と他の圏域に比べて高くなっている。

図表-34 圏域別 よく会う友人・知人との関係

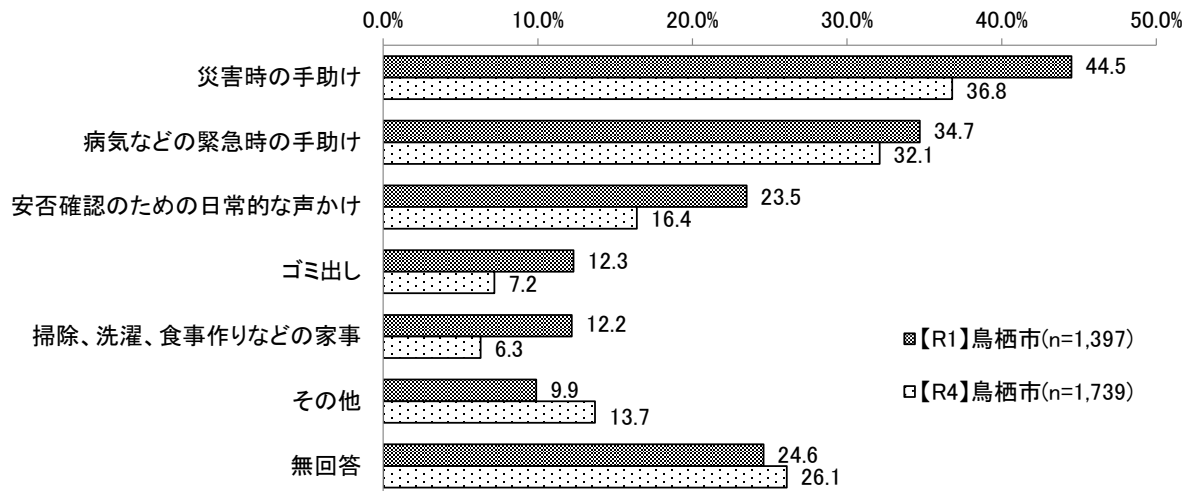
	調査数 [人]	よく会う友人・知人との関係									
		の近所・同じ地域	幼なじみ	学生時代の友人	元仕事での同僚・	同趣味や関心が	のボランティア活動での友人等	その他	いない	無回答	
鳥栖市全体	1,739	47.6	8.1	14.0	30.2	31.8	6.8	8.3	8.5	5.9	
日圏常域生活	鳥栖地区	580	42.6	8.8	18.1	31.6	31.2	7.4	8.1	9.7	6.4
	田代基里地区	371	53.6	5.4	11.9	24.5	34.5	6.2	8.9	7.8	6.7
	若葉弥生が丘地区	276	44.9	7.6	11.2	33.3	29.7	7.2	10.1	8.0	5.4
	鳥栖西地区	512	50.4	9.4	12.3	31.3	31.6	6.3	7.2	8.0	5.1



⑦ 周りの人に助けてもらいたいこと

問6(9) あなたが地域で暮らし続けるために、周りの人に助けてもらいたいことはありますか(いくつでも)

図表-35 周りの人に助けてもらいたいこと(複数回答)



周りの人に助けってもらいたいことは、鳥栖市では「災害時の手助け」の割合が36.8%と最も高く、次いで「病気などの緊急時の手助け」(32.1%)、「安否確認のための日常的な声かけ」(16.4%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「災害時の手助け」の割合は7.7ポイント減少している。

圏域別にみると、鳥栖西地区では「災害時の手助け」の割合が38.7%と他の圏域に比べてやや高くなっている。

図表-36 圏域別 周りの人に助けてもらいたいこと

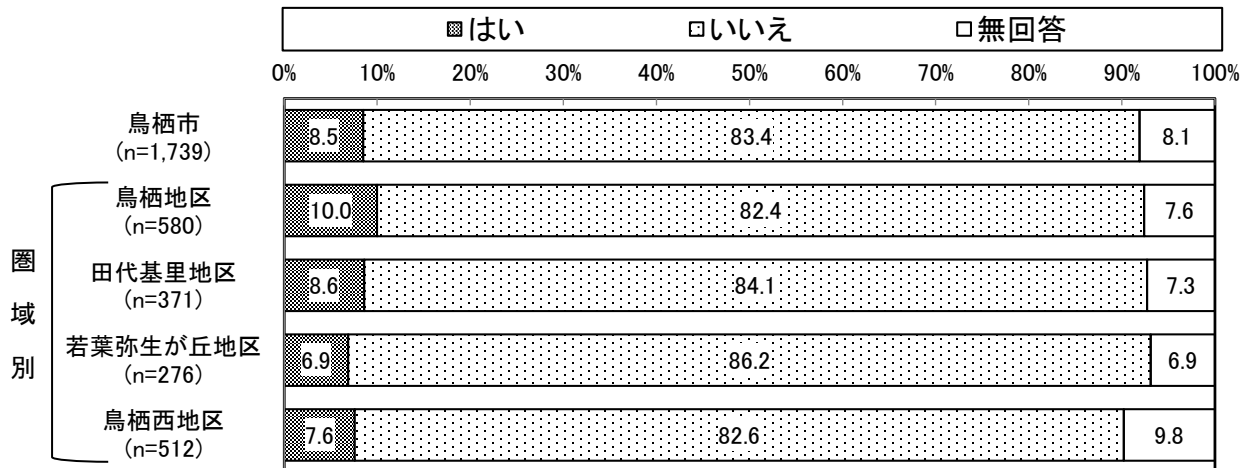
	調査数「人」	周りの人に助けてもらいたいこと							
		掃除、洗濯、食事作りなどの家事	ゴミ出し	病気などの緊急時の手助け	災害時の手助け	安否確認のための日常的な声かけ	その他	無回答	
鳥栖市全体	1,739	6.3	7.2	32.1	36.8	16.4	13.7	26.1	
日常圏域生活	鳥栖地区	580	6.6	6.9	34.3	36.0	16.2	11.9	27.1
	田代基里地区	371	5.1	8.6	33.2	36.7	16.4	16.2	24.5
	若葉弥生が丘地区	276	7.2	7.2	30.4	35.1	15.6	16.3	25.0
	鳥栖西地区	512	6.3	6.4	29.7	38.7	17.0	12.5	26.8

## 5. 認知症にかかる相談窓口の把握について

### (1) 自分や家族に認知症の症状があるか

問8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

図表-37 自分や家族に認知症の症状があるか



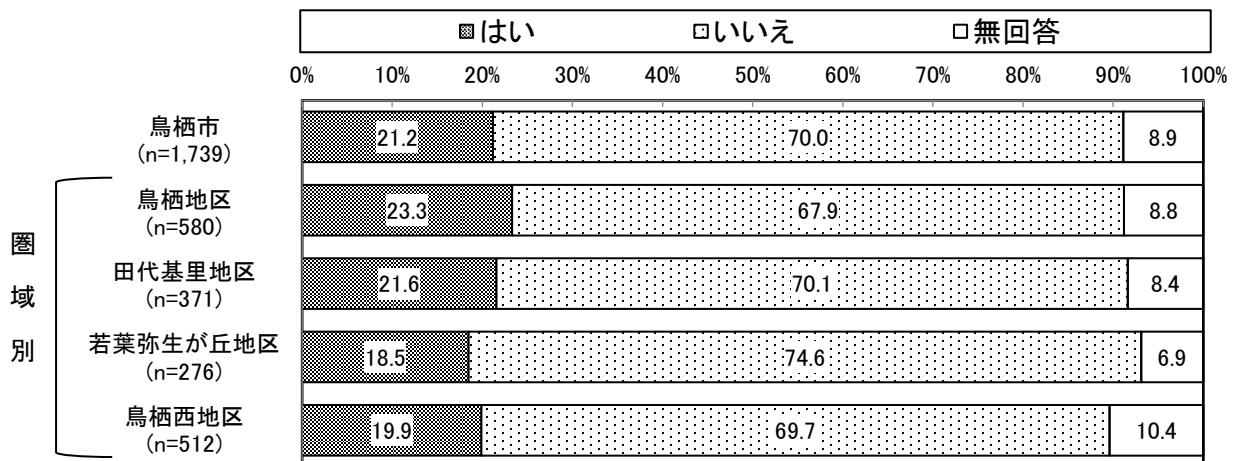
自分や家族に認知症の症状があるかについてたずねたところ、鳥栖市では「はい」が8.5%、「いいえ」が83.4%となっている。

圏域別にみると、鳥栖地区では「はい」の割合が10.0%と他の圏域に比べてやや高くなっている。

### (2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

図表-38 認知症に関する相談窓口を知っているか



認知症に関する相談窓口を知っているかについてたずねたところ、鳥栖市では「はい」が21.2%、「いいえ」が70.0%となっている。

圏域別にみると、鳥栖地区、田代基里地区では「はい」の割合が2割台と他の圏域に比べてやや高くなっている。

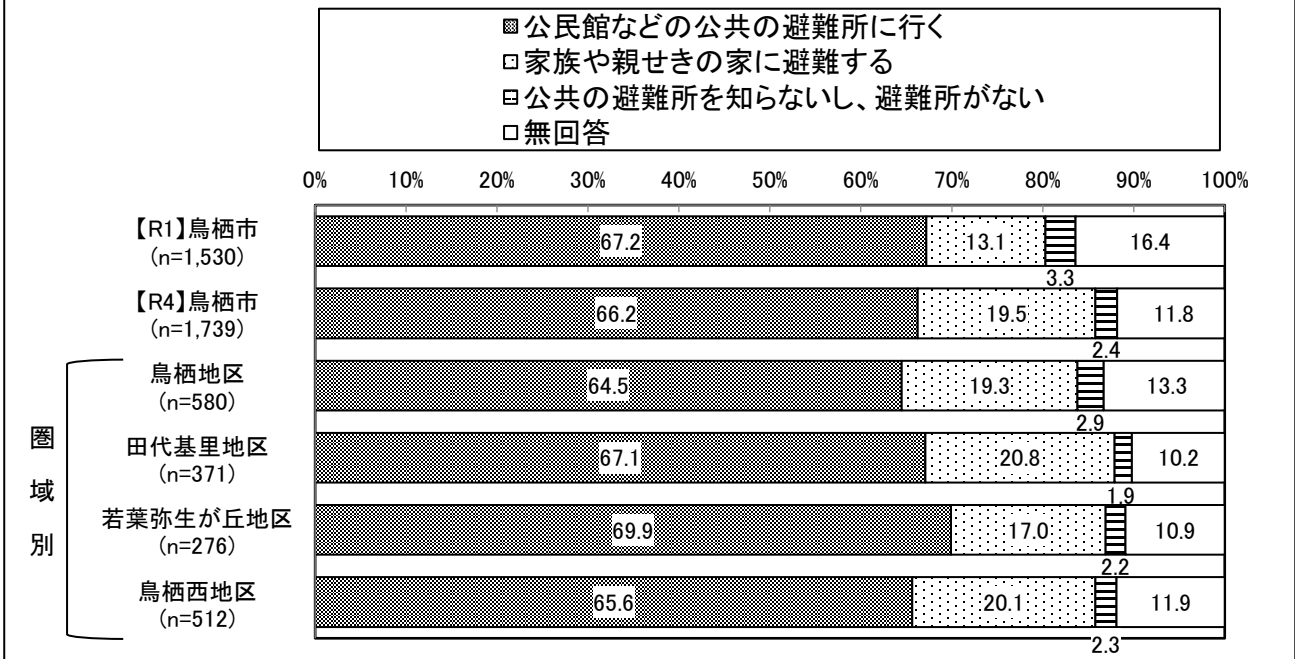
## 6. 災害時の対応について

### (1) 台風などの災害時の避難

#### ① 台風などの災害での避難場所

問9 (2) 台風などの災害で、避難が必要な場合どこに避難しますか

図表-39 台風などの災害での避難場所



台風などの災害での避難場所についてたずねたところ、鳥栖市では「公民館などの公共の避難所に行く」が66.2%と最も高くなっている。

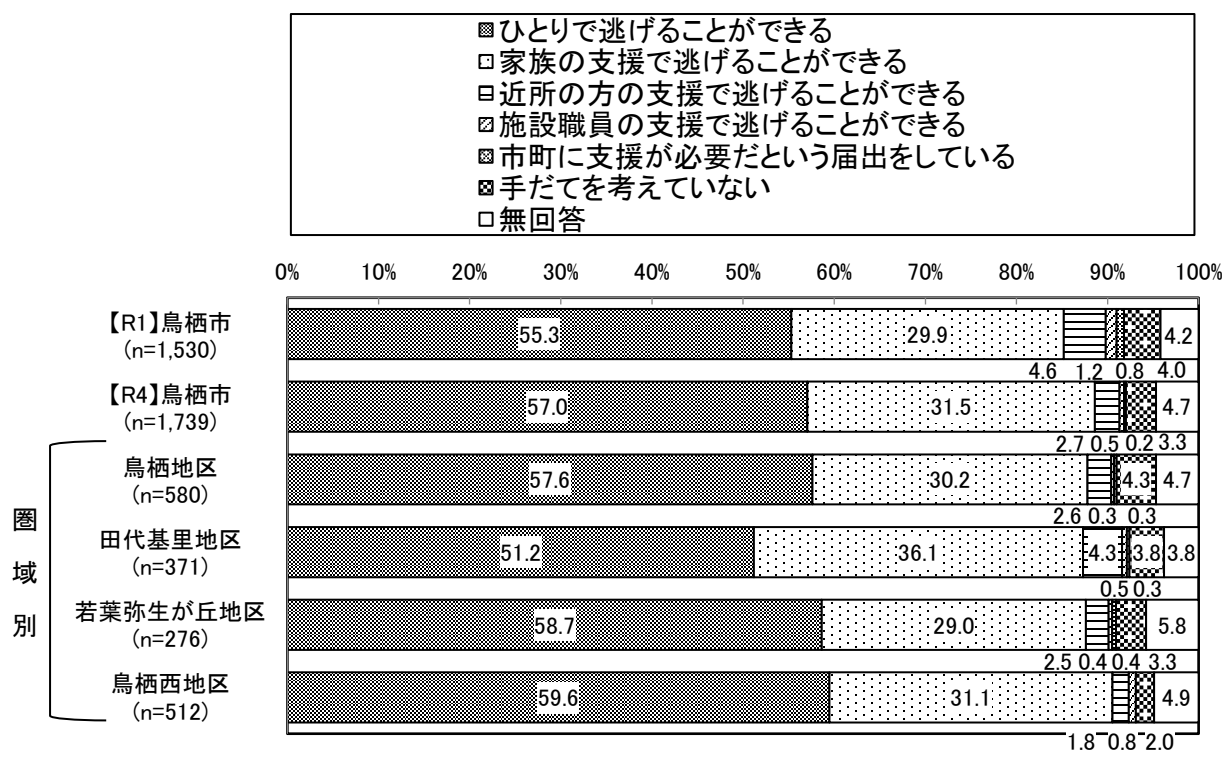
令和元年度調査と比較すると、「家族や親せきの家に避難する」の割合は6.4ポイント増加している。

圏域別にみると、「公共の避難所を知らないし、避難所がない」の割合は、各圏域で2~3%みられる。

② 台風などの災害での避難方法

問9 (3) 台風などの災害で、避難が必要な場合、どのように避難しますか

図表-40 台風などの災害での避難方法



台風などの災害での避難方法についてたずねたところ、鳥栖市では「ひとりで逃げることができる」が57.0%と最も高く、次いで「家族の支援で逃げることができる」(31.5%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「ひとりで逃げることができる」「家族の支援で逃げることができる」の割合がやや増加している。

圏域別にみると、田代基里地区では「ひとりで逃げることができる」の割合が51.2%と他の圏域に比べて低くなっている。また「手だてを考えていない」の割合は各圏域で2~4%となっている。

台風などの災害での避難場所について、性・年齢別にみると、女性の85歳以上では「公民館などの公共の避難所に行く」の割合が52.6%と他の性・年齢に比べて低くなっている。

介護状態区別にみると、要支援1、要支援2では「公民館などの公共の避難所に行く」の割合が5割となっている。

家族構成別にみると、1人暮らしでは「公民館などの公共の避難所に行く」の割合が50.4%と他の家族構成に比べて低くなっている。

台風などの災害での避難方法については、性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるにつれて「ひとりで逃げられる」の割合が低くなっている。

介護状態区別にみると、要支援1、要支援2では「ひとりで逃げられる」の割合は1割未満となっている。

家族構成別にみると、息子・娘との2世帯では「家族の支援で逃げることができる」の割合が48.0%と他の家族構成に比べて高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、総合事業対象者では「ひとりで逃げられる」の割合は4割未満となっている。

図表－４１ 性・年齢別、介護状態区分別、家族構成別、該当状況別  
台風などの災害での避難場所・避難方法（％）

	調査数 (人)	台風などの災害での避難場所				調査数 (人)	台風などの災害での避難方法							
		の公民館 避難所 に行く 公共	に家族 や親 せき の家	が な い し 避 難 所 を 知	無 回 答		る ひ と り で 逃 げ ら れ	る 家 族 の 支 援 で 逃 げ	る 逃 げ る 方 が 支 援 で	る 逃 げ る 職 員 の 支 援 で	し て 市 に 届 け る の 人	て し て 近 い 手 を い る 人	支 援 し て い く る 人	無 回 答
全体	1,739	66.2	19.5	2.4	11.8	1,739	57.0	31.5	2.7	0.5	0.2	3.3	4.7	
性・年齢	【男性計】	763	73.0	13.8	2.8	10.5	763	68.0	22.0	2.4	0.3	0.1	3.4	3.8
	65～69歳	173	76.3	14.5	4.0	5.2	173	85.5	10.4	0.6	-	-	0.6	2.9
	70～74歳	233	73.0	12.0	2.6	12.4	233	77.7	14.6	0.9	0.4	-	3.0	3.4
	75～79歳	156	73.1	15.4	0.6	10.9	156	66.7	22.4	2.6	-	0.6	2.6	5.1
	80～84歳	122	73.8	11.5	1.6	13.1	122	50.0	33.6	4.9	0.8	-	5.7	4.9
	85歳以上	79	64.6	17.7	6.3	11.4	79	31.6	50.6	6.3	-	-	8.9	2.5
	【女性計】	976	61.0	24.0	2.2	12.9	976	48.4	38.9	3.0	0.7	0.3	3.3	5.4
	65～69歳	224	59.4	29.5	2.2	8.9	224	69.2	23.7	2.7	-	-	2.2	2.2
	70～74歳	283	66.1	21.6	1.8	10.6	283	53.7	38.5	2.5	0.4	0.4	1.4	3.2
	75～79歳	202	61.9	23.8	3.0	11.4	202	46.0	39.1	2.5	0.5	0.5	5.0	6.4
80～84歳	153	58.8	20.3	1.3	19.6	153	35.3	50.3	2.6	0.7	-	3.3	7.8	
85歳以上	114	52.6	24.6	2.6	20.2	114	15.8	54.4	6.1	3.5	0.9	7.0	12.3	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護状態	要支援1	40	50.0	35.0	2.5	12.5	40	7.5	65.0	7.5	-	-	10.0	10.0
	要支援2	52	50.0	26.9	1.9	21.2	52	7.7	51.9	11.5	7.7	1.9	11.5	7.7
	事業対象者	6	50.0	33.3	-	16.7	6	33.3	50.0	16.7	-	-	-	-
	一般高齢者	1,641	67.2	18.8	2.4	11.5	1,641	59.8	30.0	2.3	0.3	0.2	2.9	4.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
家族構成	1人暮らし	264	50.4	33.3	3.0	13.3	264	60.6	15.2	7.6	1.5	-	8.3	6.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	699	69.8	18.6	1.7	9.9	699	61.5	29.8	1.6	0.1	0.1	3.0	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	72	63.9	22.2	4.2	9.7	72	73.6	16.7	-	-	-	5.6	4.2
	息子・娘との2世帯	321	69.5	14.3	1.9	14.3	321	43.9	48.0	1.6	-	0.3	1.6	4.7
	その他	323	68.7	14.9	4.0	12.4	323	55.4	35.0	2.8	0.9	0.3	1.5	4.0
	無回答	60	66.7	18.3	-	15.0	60	46.7	35.0	3.3	1.7	1.7	1.7	10.0
該当状況	一般高齢者	1,096	68.7	19.4	1.6	10.3	1,096	66.7	24.7	2.0	0.3	0.1	1.7	4.5
	総合事業対象者	563	61.3	20.6	4.1	14.0	563	39.6	44.0	3.7	0.9	0.4	6.7	4.6
	判定不可	80	67.5	12.5	2.5	17.5	80	46.3	36.3	5.0	1.3	1.3	1.3	8.8

## Ⅱ. 在宅介護実態調査

---

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の目的

本調査は介護保険事業計画の策定において、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。

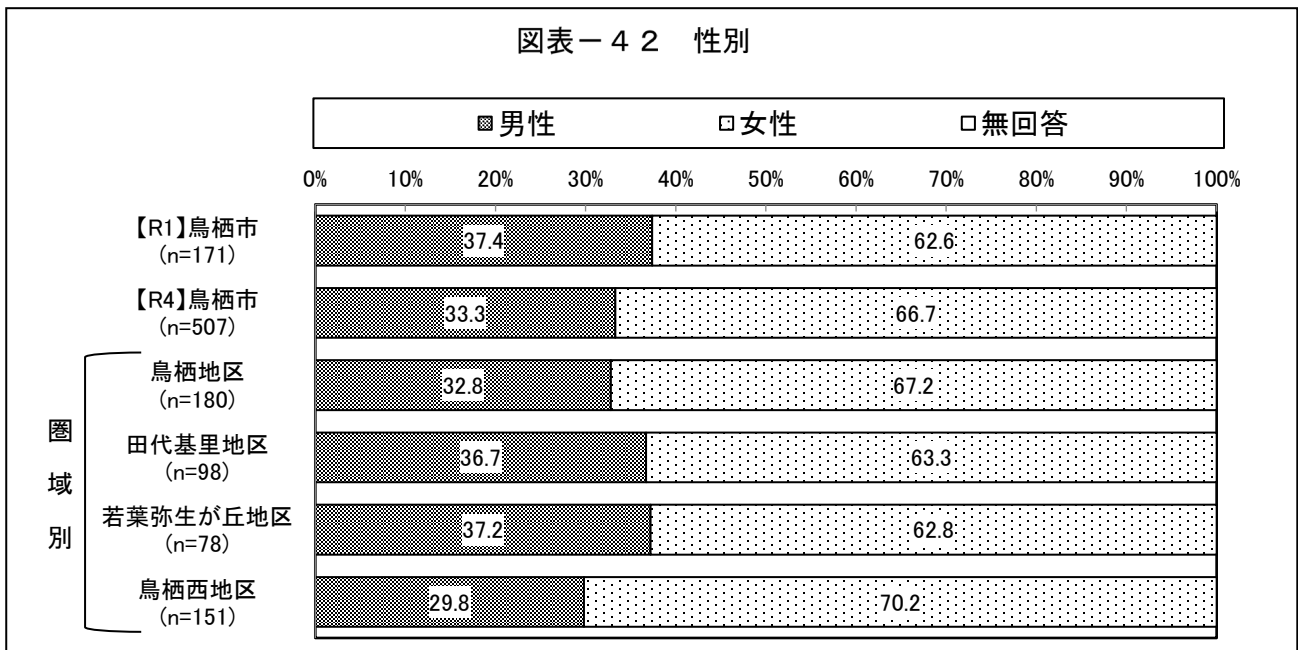
#### (2) 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける在宅の要介護認定者 991人 ※組合全体1,943人
調査方法	郵送配布－郵送回収
有効回収数 (率)	507人(51.2%) ※組合全体996人(51.3%)
実施年月	令和4年10月5日～11月18日

## 2. 回答者の基本属性

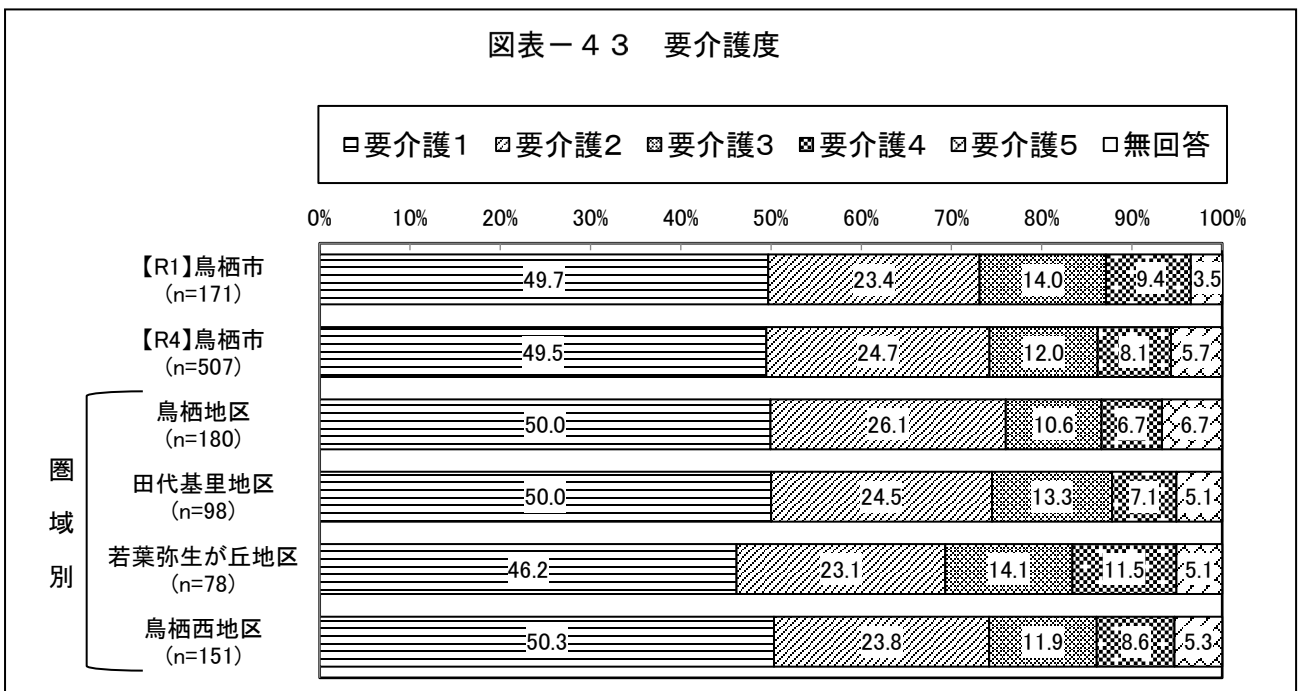
### (1) 基本属性

#### ① 性別



鳥栖市では、「男性」が33.3%、「女性」が66.7%となっている。  
圏域別にみると、鳥栖西地区で「女性」が7割と他の圏域に比べて高くなっている。

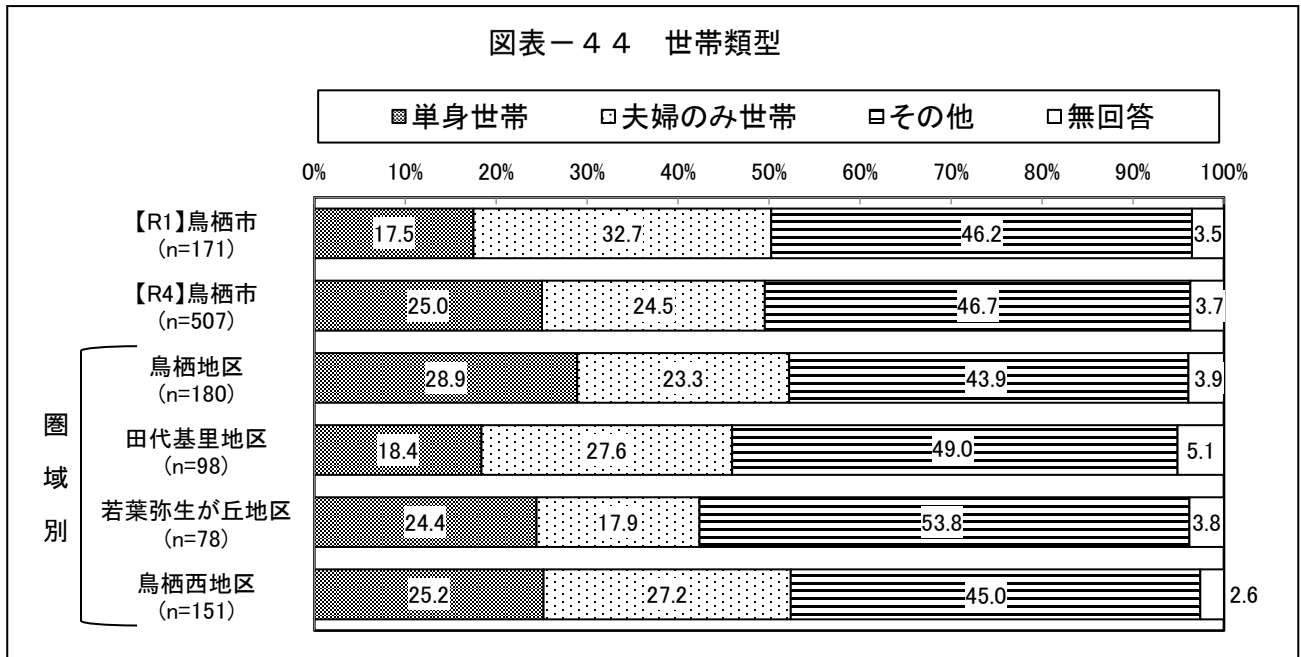
#### ② 要介護度



鳥栖市では、「要介護1」の割合が49.5%と最も高く、次いで「要介護2」(24.7%)、「要介護3」(12.0%)となっている。  
圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「要介護4」の割合が11.5%と他の圏域に比べてやや高くなっている。

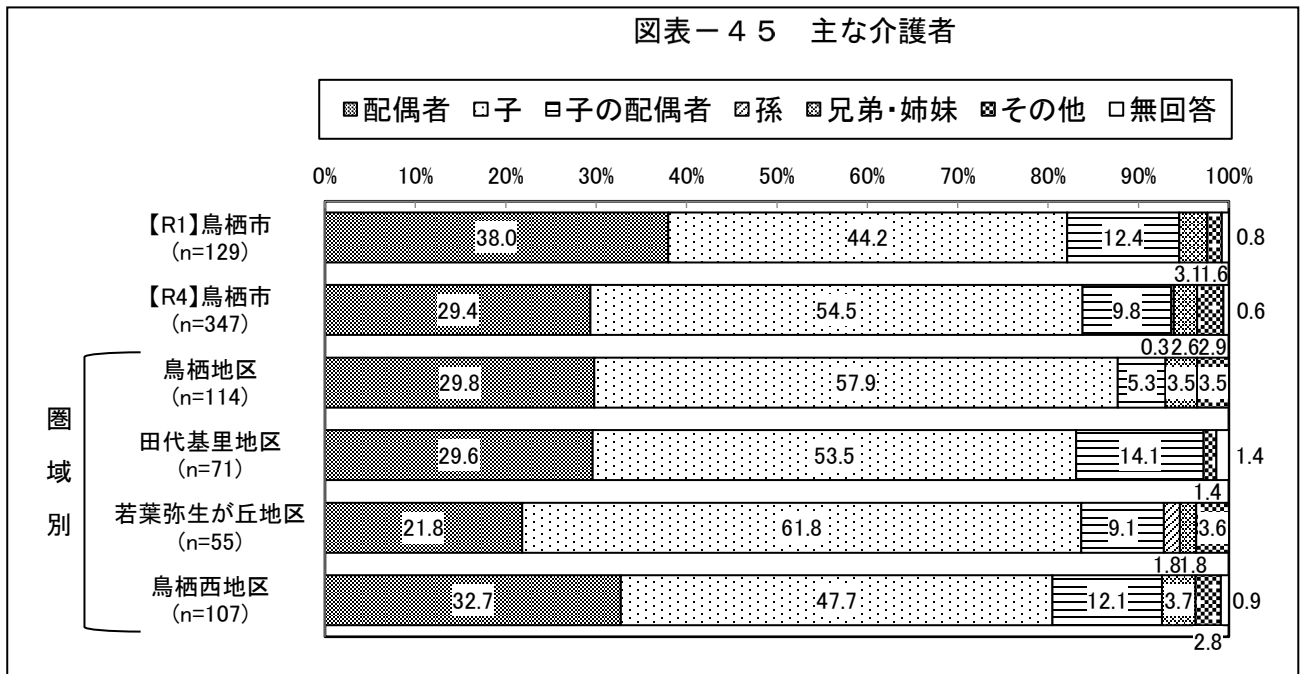
### 3. 家族や生活状況について

#### (1) 世帯類型



世帯類型について、鳥栖市では「単身世帯」が25.0%、「夫婦のみ世帯」が24.5%となっている。圏域別にみると、鳥栖地区では「単身世帯」の割合が28.9%と他の圏域に比べて高くなっている。また若葉弥生が丘地区では「夫婦のみ世帯」の割合が17.9%と他の圏域に比べて低くなっている。

#### (2) 主な介護者



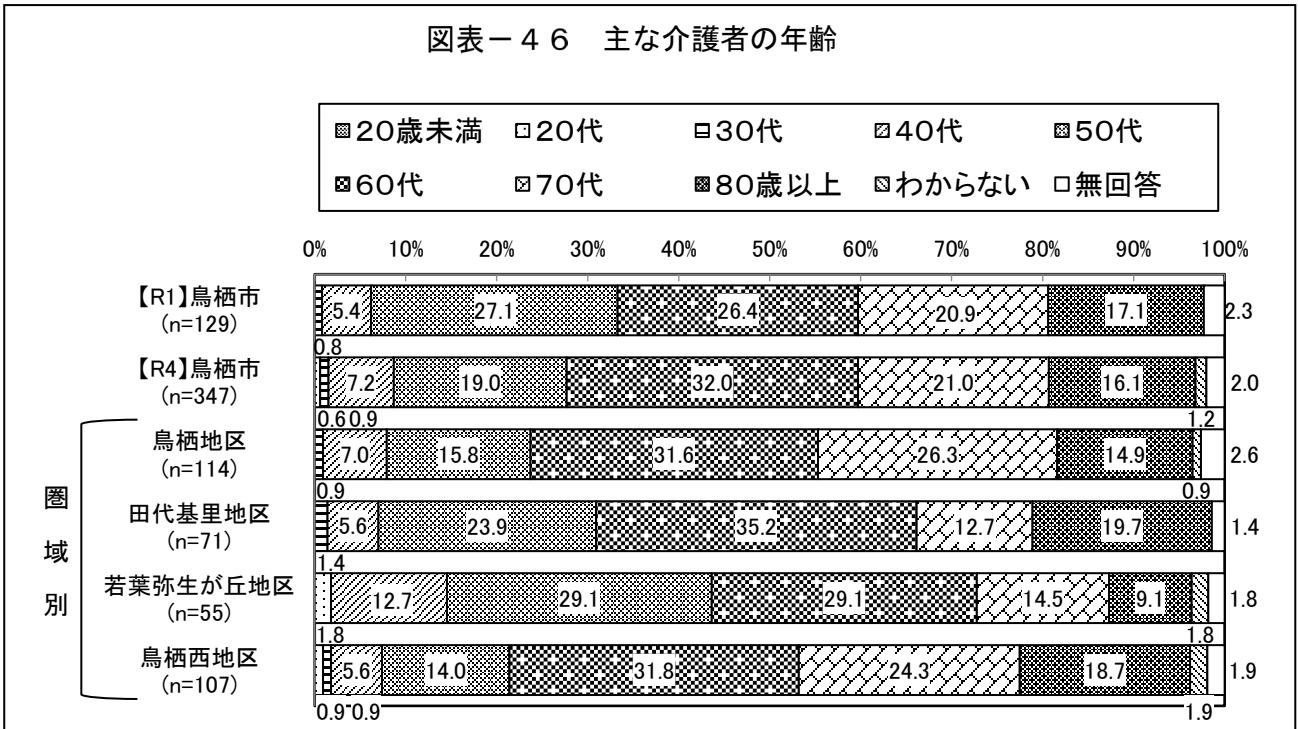
主な介護者は、鳥栖市では「子」の割合が54.5%と最も高く、次いで「配偶者」(29.8%)、「子の配偶者」(9.8%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「配偶者」の割合は8.6ポイント減少し、「子」の割合は10.3ポイント増加している。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「子」の割合が61.8%と他の圏域に比べて高くなっている。



(3) 主な介護者の年齢

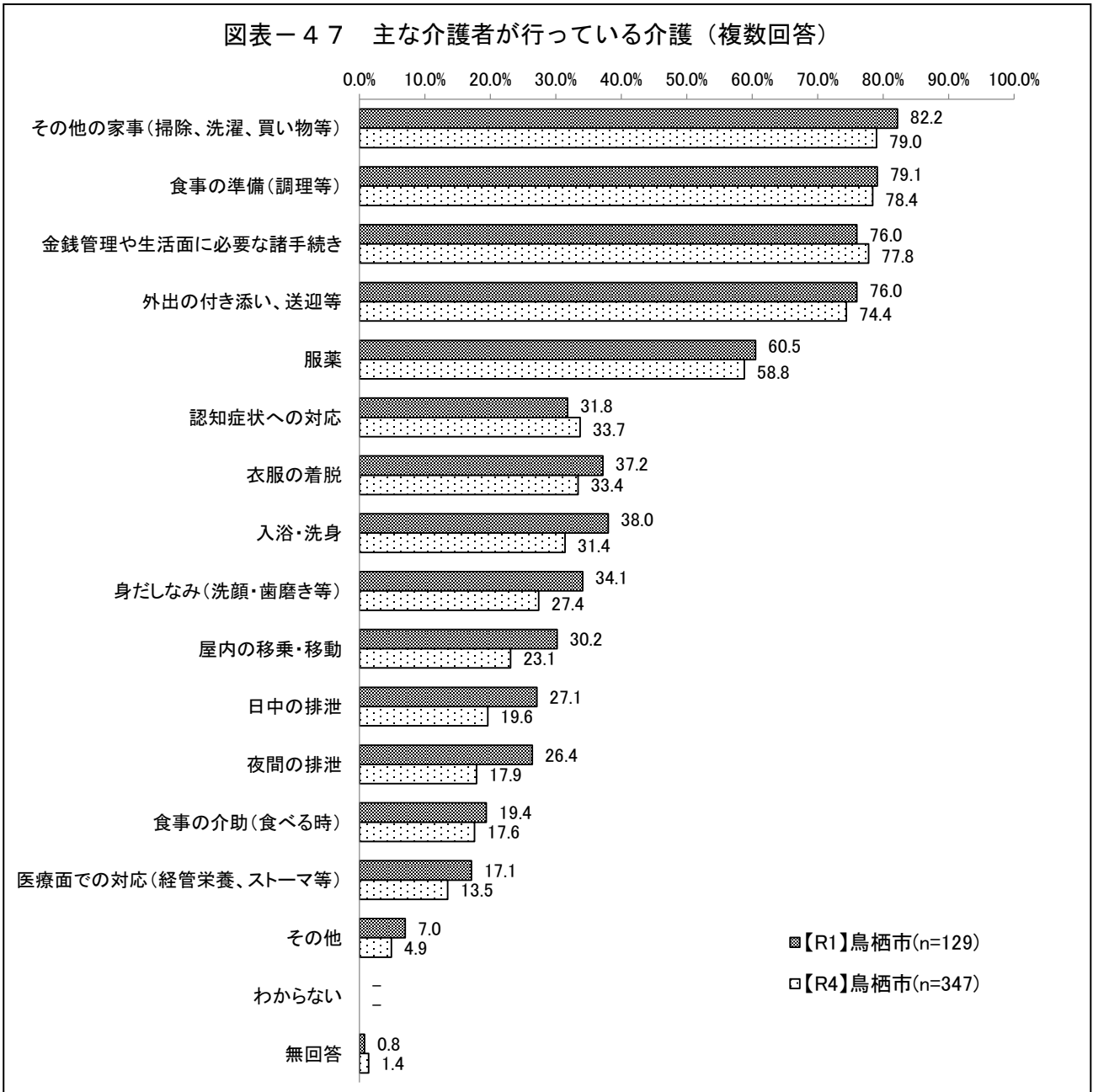


主な介護者の年齢は、鳥栖市では「60代」が32.0%と最も高く、次いで「70代」(21.0%)、「50代」(19.0%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「50代」の割合は5.6ポイント増加している。

圏域別にみると、鳥栖地区、鳥栖西地区では「70代」の割合が2割台と他の圏域に比べて高くなっている。また田代基里地区、鳥栖西地区では「80歳以上」の割合が約2割と他の圏域に比べて高くなっている。

(4) 主な介護者が行っている介護



主な介護者が行っている介護についてたずねたところ、鳥栖市では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が79.0%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」（78.4%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（77.8%）となっている。

令和元年度調査と比較すると、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「認知症状への対応」の割合がやや増加している。

要介護度別にみると、「日中の排泄」「夜間の排泄」は要介護度が高くなるにつれて割合も高くなっている。

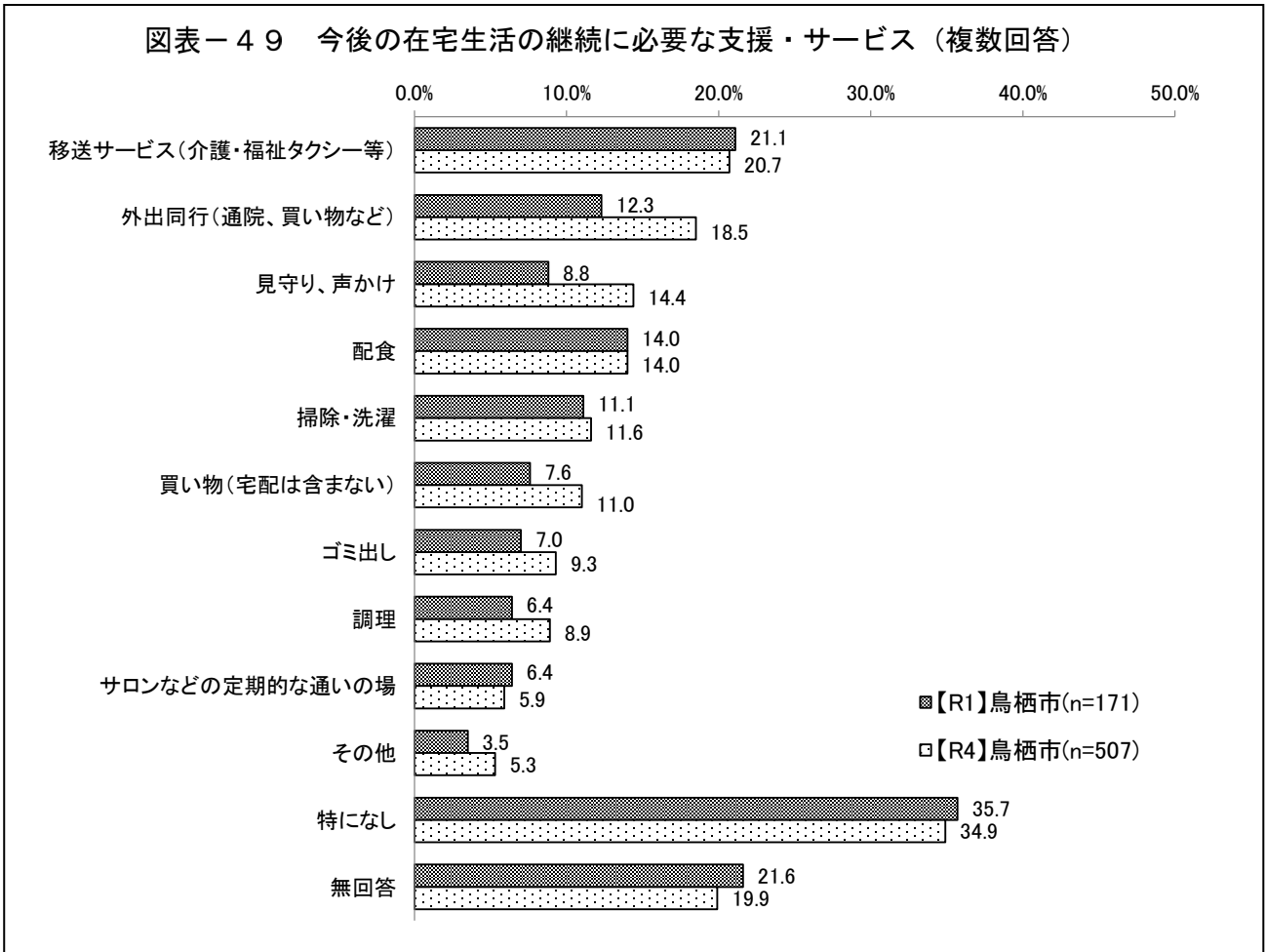
圏域別にみると、鳥栖地区では「夜間の排泄」（23.7%）、若葉弥生が丘地区では「日中の排泄」（27.3%）、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」（34.5%）、「屋内の移乗・移動」（30.9%）の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

図表－４８ 要介護度別、圏域別 主な介護者が行っている介護（％）

	調査数〔人〕	主な介護者が行っている介護									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	顔身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の送り迎え	服薬	
鳥栖市全体	347	19.6	17.9	17.6	31.4	27.4	33.4	23.1	74.4	58.8	
要介護度	要介護1	179	5.6	3.9	9.5	23.5	16.2	14.5	9.5	74.3	50.3
	要介護2	94	23.4	22.3	12.8	42.6	25.5	45.7	23.4	79.8	67.0
	要介護3	37	37.8	37.8	29.7	35.1	51.4	62.2	51.4	81.1	64.9
	要介護4	22	45.5	40.9	45.5	36.4	45.5	54.5	45.5	59.1	68.2
	要介護5	15	80.0	73.3	73.3	40.0	86.7	80.0	80.0	46.7	80.0
日常生活圏域	鳥栖地区	114	19.3	23.7	16.7	28.9	28.9	34.2	23.7	73.7	56.1
	田代基里地区	71	15.5	14.1	11.3	25.4	21.1	29.6	16.9	76.1	57.7
	若葉弥生が丘地区	55	27.3	18.2	20.0	34.5	34.5	34.5	30.9	65.5	61.8
	鳥栖西地区	107	18.7	14.0	21.5	36.4	26.2	34.6	22.4	78.5	60.7

	調査数〔人〕	主な介護者が行っている介護									
		認知症への対応	（経管栄養等）	医療面での対応	食事の準備（調理等）	（掃除、洗濯、買い物等）	その他の家事	洗面に必要な諸手	金銭管理や生活	その他	わからない
鳥栖市全体	347	33.7	13.5	78.4	79.0	77.8	4.9	-	1.4		
要介護度	要介護1	179	27.9	10.1	74.3	74.9	73.2	3.4	-	0.6	
	要介護2	94	34.0	14.9	85.1	88.3	85.1	4.3	-	1.1	
	要介護3	37	48.6	8.1	81.1	81.1	81.1	13.5	-	5.4	
	要介護4	22	40.9	27.3	77.3	68.2	77.3	-	-	4.5	
	要介護5	15	53.3	40.0	80.0	80.0	80.0	13.3	-	-	
日常生活圏域	鳥栖地区	114	34.2	14.9	78.1	82.5	79.8	3.5	-	0.9	
	田代基里地区	71	36.6	12.7	80.3	73.2	73.2	4.2	-	2.8	
	若葉弥生が丘地区	55	34.5	9.1	78.2	74.5	72.7	3.6	-	1.8	
	鳥栖西地区	107	30.8	15.0	77.6	81.3	81.3	7.5	-	0.9	

(5) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス



今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスについてたずねたところ、鳥栖市では「特になし」の割合が34.9%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（20.7%）、「外出同行（通院、買い物など）」（18.5%）となっている。

令和元年度調査と比較すると、「外出同行（通院、買い物など）」の割合は6.2ポイント、「見守り・声かけ」は5.6ポイント増加している。

要介護度別にみると、要介護2では「外出同行（通院、買い物など）」の割合が24.8%、要介護3では「特になし」の割合が41.0%と他の区分に比べて高くなっている。

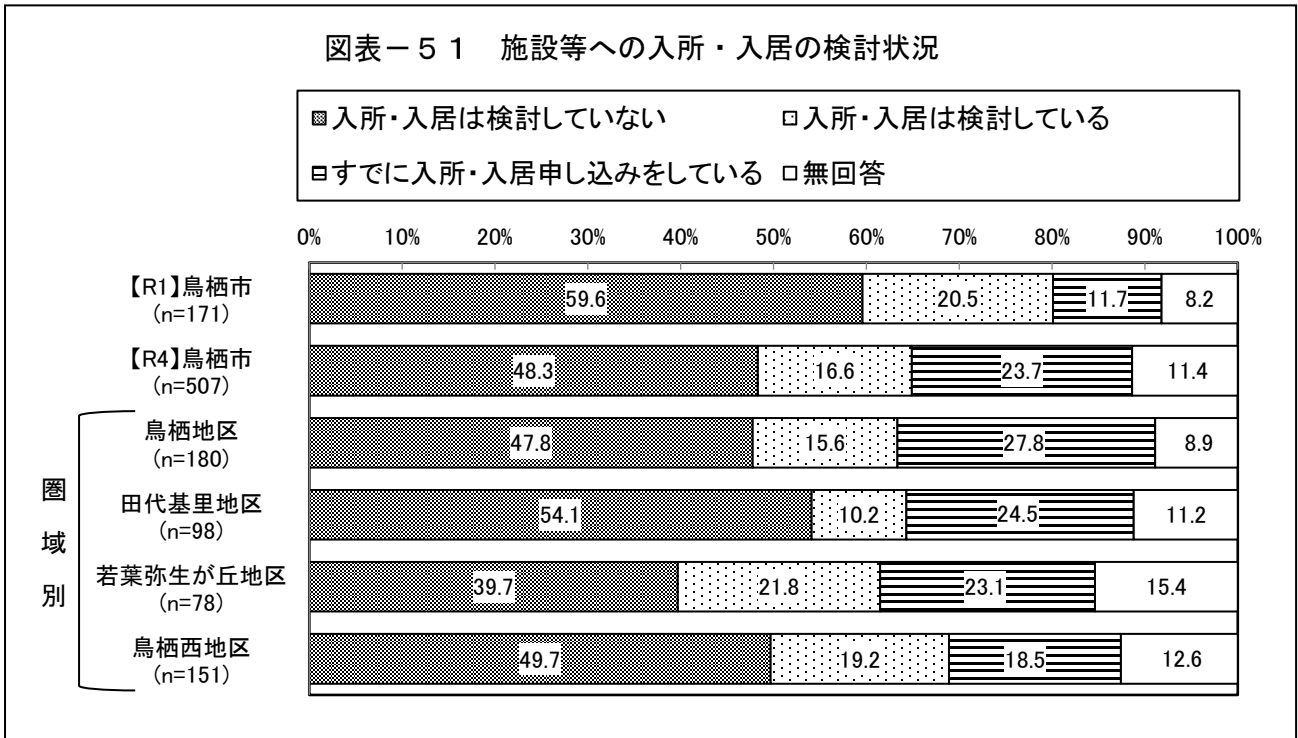
圏域別にみると、鳥栖地区では「ゴミ出し」（12.8%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（25.0%）、田代基里地区では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（25.5%）の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

世帯類型別にみると、夫婦のみ世帯では「配食」「買い物（宅配は含まない）」の割合が約2割と高くなっている。

図表－50 要介護度別、圏域別、世帯類型別  
今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス（%）

	調査数〔人〕	今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス												
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	院外、買い物同行（通院）	ク（移シ）（介送サ一護等）	移（送）サ一ビス（福社タ）	見守り、声かけ	期的な通いの場	その他	特になし	無回答
鳥栖市全体	507	14.0	8.9	11.6	11.0	9.3	18.5	20.7	14.4	5.9	5.3	34.9	19.9	
要介護度	要介護1	251	14.3	8.4	10.8	11.6	8.4	17.9	19.9	13.5	7.2	4.4	35.9	17.5
	要介護2	125	16.8	10.4	15.2	12.0	12.8	24.8	22.4	16.8	5.6	4.0	32.8	20.0
	要介護3	61	11.5	8.2	9.8	8.2	11.5	19.7	21.3	9.8	6.6	8.2	41.0	18.0
	要介護4	41	9.8	7.3	9.8	12.2	4.9	7.3	22.0	14.6	-	7.3	24.4	36.6
	要介護5	29	10.3	10.3	10.3	6.9	3.4	10.3	17.2	20.7	3.4	10.3	37.9	20.7
日常圏域生活	鳥栖地区	180	13.3	10.0	12.2	12.2	12.8	21.1	25.0	17.2	5.6	5.6	34.4	16.1
	田代基里地区	98	14.3	8.2	13.3	9.2	7.1	19.4	25.5	11.2	7.1	3.1	26.5	29.6
	若葉弥生が丘地区	78	11.5	6.4	5.1	9.0	2.6	15.4	11.5	12.8	5.1	10.3	34.6	17.9
	鳥栖西地区	151	15.9	9.3	13.2	11.9	9.9	16.6	17.2	13.9	6.0	4.0	41.1	19.2
世帯類型	単身世帯	127	16.5	12.6	18.1	16.5	15.7	21.3	25.2	20.5	6.3	3.9	36.2	15.0
	夫婦のみ世帯	124	20.2	16.9	16.9	21.0	12.1	23.4	24.2	19.4	7.3	3.2	30.6	17.7
	その他	237	9.3	3.0	5.5	3.4	4.2	13.9	16.5	9.7	4.6	7.2	38.4	22.8
	無回答	19	15.8	5.3	10.5	5.3	10.5	26.3	21.1	-	10.5	5.3	10.5	31.6

(6) 施設等への入所・入居の検討状況



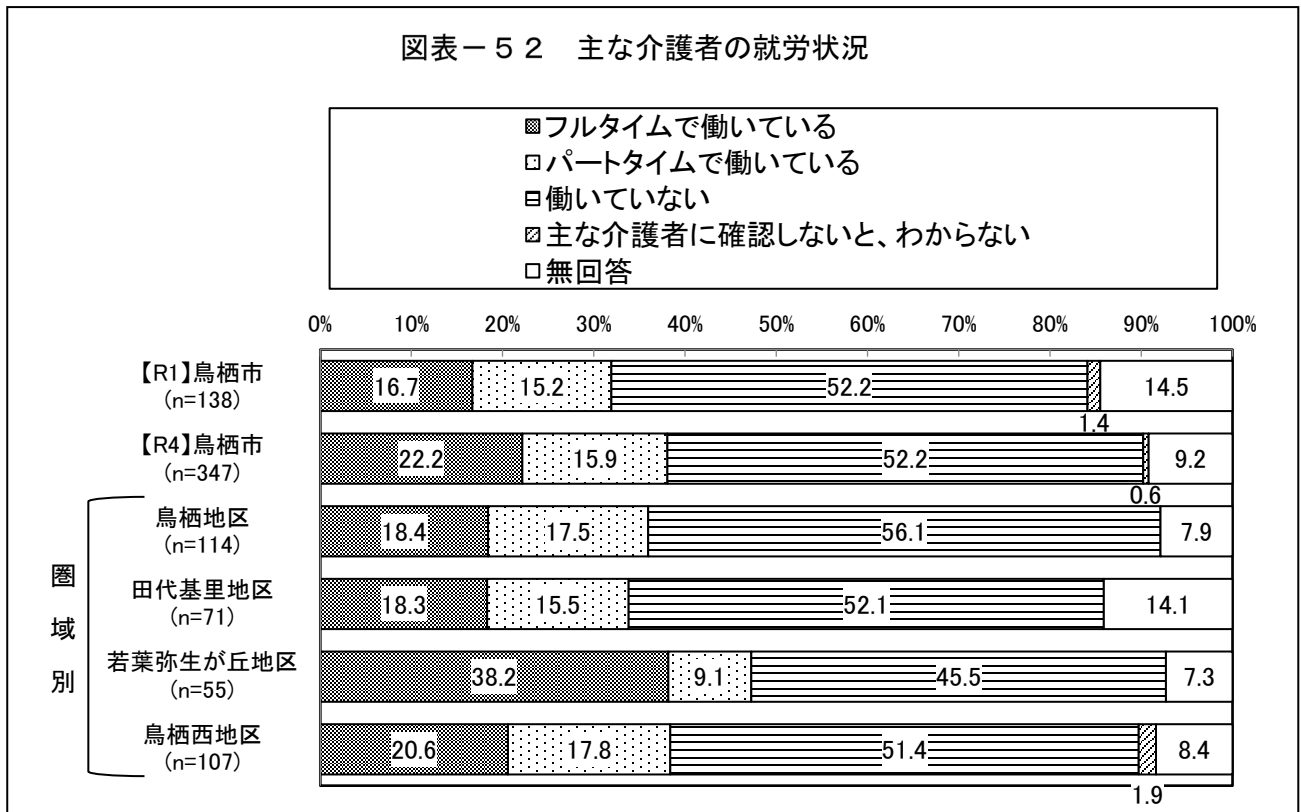
施設等への入所・入居の検討状況についてたずねたところ、鳥栖市では「入所・入居は検討していない」の割合が48.3%と最も高く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」(23.7%)、「入所・入居は検討している」(16.6%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は12.0ポイント増加している。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「入所・入居は検討していない」の割合が39.7%と他の圏域に比べて低くなっている。

## 4. 主な介護者の就労等に関する調査結果

### (1) 主な介護者の就労状況

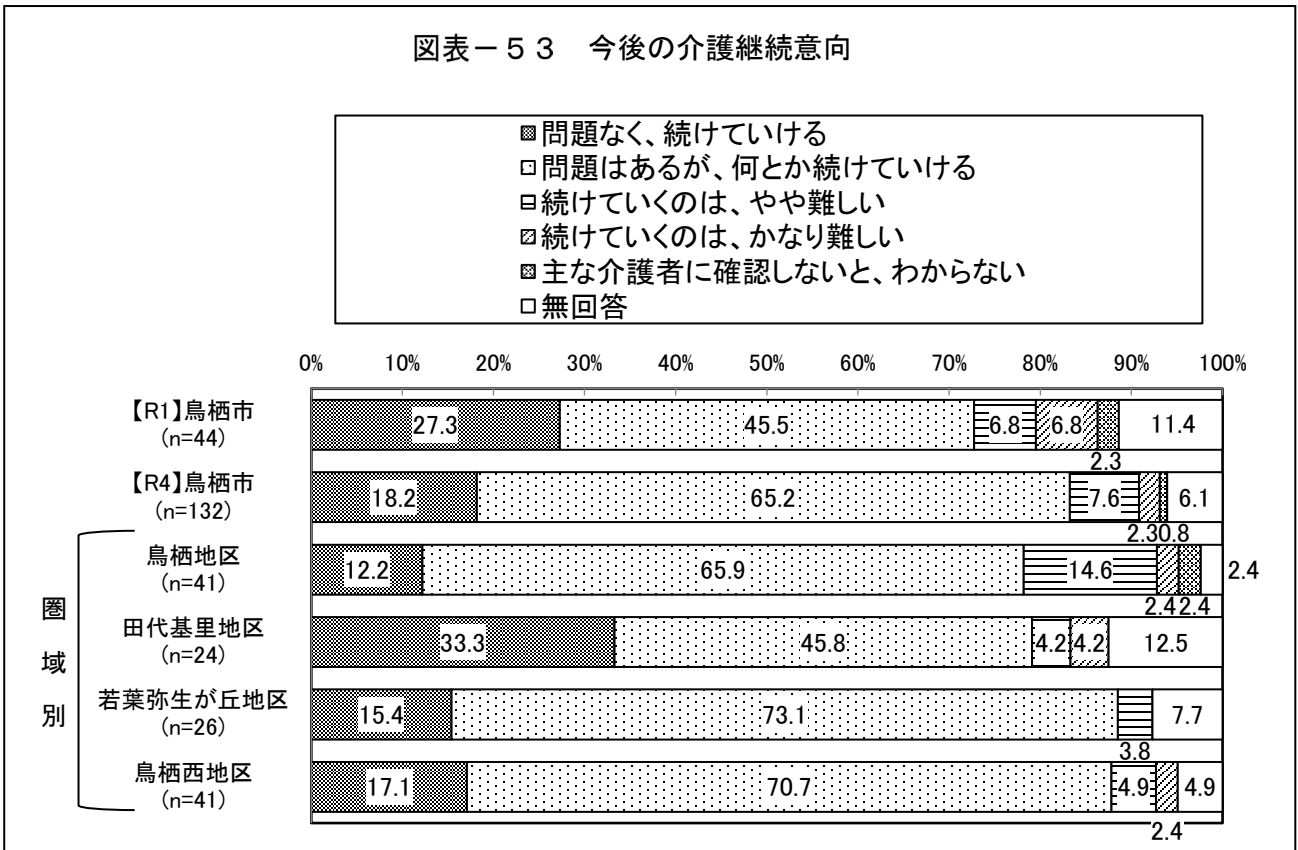


主な介護者の就労状況についてたずねたところ、鳥栖市では「働いていない」の割合が52.2%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(22.2%)、「パートタイムで働いている」(15.9%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「フルタイムで働いている」の割合は5.5ポイント増加している。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「フルタイムで働いている」の割合が38.2%と他の圏域に比べて高くなっている。

(2) 今後の介護継続意向



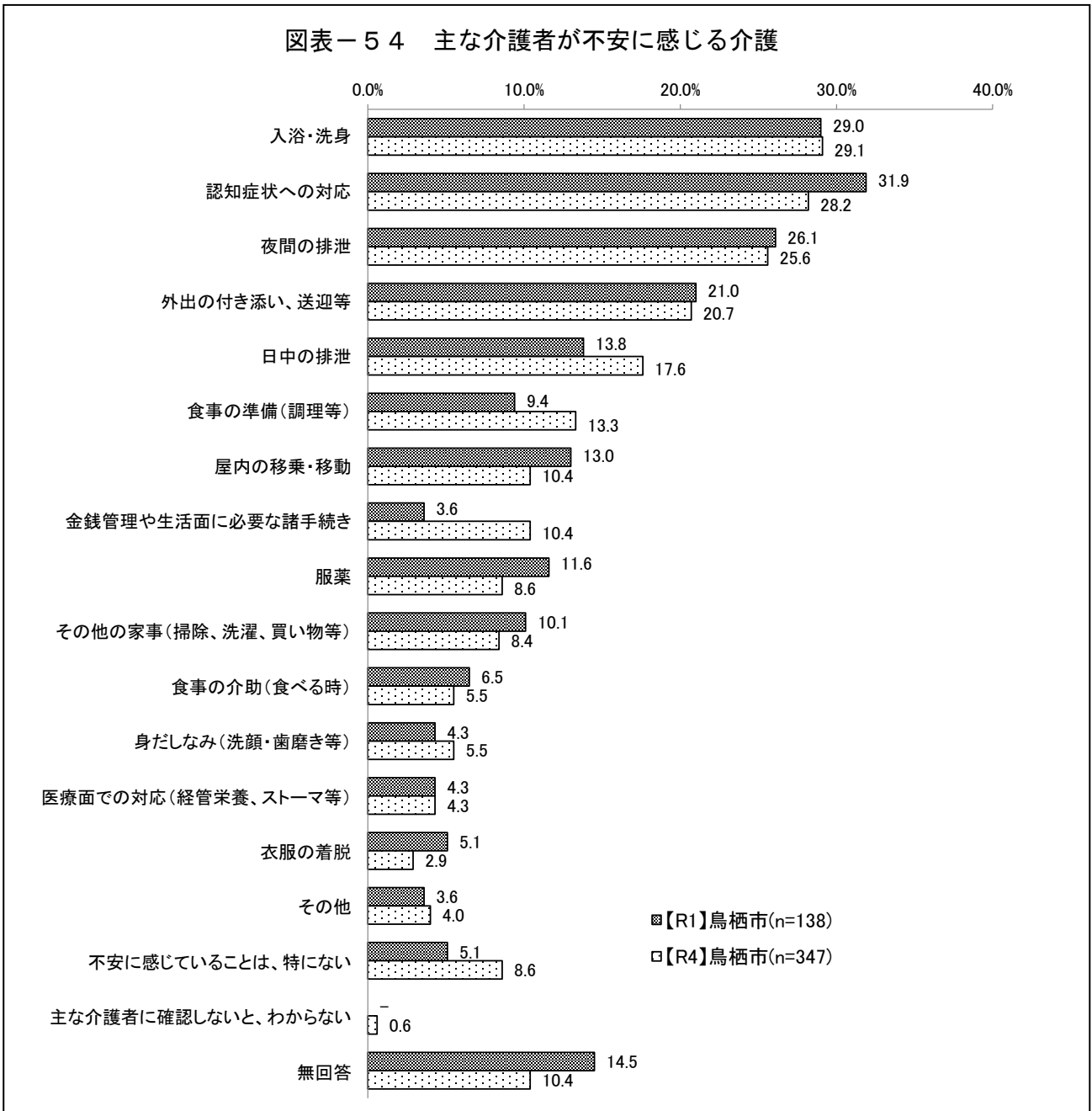
今後の介護継続意向についてたずねたところ、鳥栖市では「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が65.2%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(18.2%)、「続けていくのは、やや難しい」(7.6%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合は19.7ポイント増加している。

圏域別にみると、田代基里地区で「問題なく、続けていける」の割合が33.3%と他の区分に比べて高くなっている。



### (3) 主な介護者が不安に感じる介護



主な介護者が不安に感じる介護についてたずねたところ、鳥栖市では「入浴・洗身」の割合が29.1%と最も高く、次いで「認知症状への対応」(28.2%)、「夜間の排泄」(25.6%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「金銭管理や生活面に関する諸手続き」の割合は6.8ポイント増加している。

要介護度別にみると、要介護2、要介護3では「夜間の排泄」の割合が3割台と他の区分に比べて高くなっている。

圏域別にみると、鳥栖地区では「夜間の排泄」(34.2%)、若葉弥生が丘地区では「入浴・洗身」(36.4%)、鳥栖西地区では「外出の付き添い、送迎等」(27.1%)の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

主な介護者の性別にみると、女性では「入浴・洗身」の割合が31.9%と男性に比べて高くなっている。

主な介護者の年齢別にみると、50代では「日中の排泄」(25.8%)、「夜間の排泄」(36.4%)の割合が高くなっている。

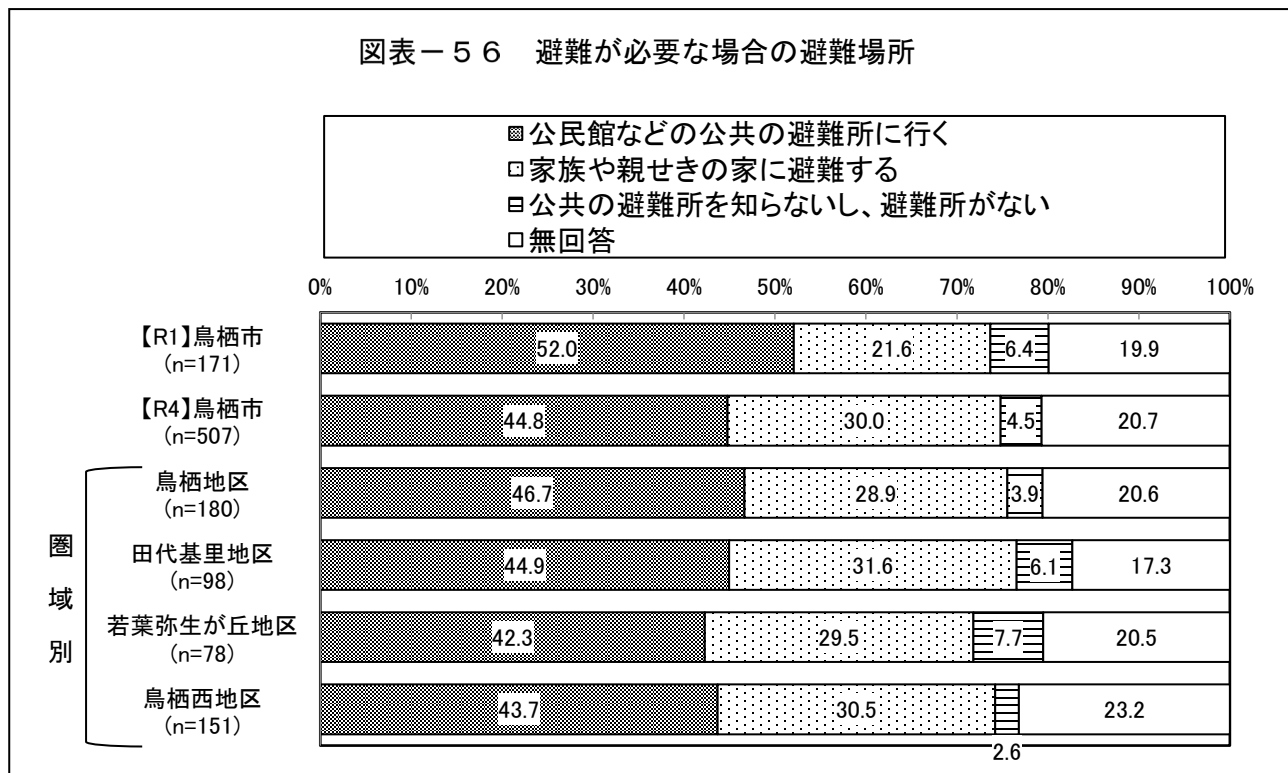
図表－５５ 要介護度別、圏域別、主な介護者の性別、主な介護者の年齢別  
 主な介護者が不安に感じる介護（％）

	調査数〔人〕	主な介護者が不安に感じる介護									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	顔身だしなみ（洗面・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	
鳥栖市全体	347	17.6	25.6	5.5	29.1	5.5	2.9	10.4	20.7	8.6	
要介護度	要介護1	179	11.2	19.6	5.0	26.8	6.1	3.4	8.4	22.9	10.6
	要介護2	94	30.9	37.2	7.4	33.0	6.4	2.1	11.7	22.3	8.5
	要介護3	37	21.6	35.1	2.7	35.1	2.7	5.4	13.5	16.2	5.4
	要介護4	22	9.1	22.7	4.5	36.4	-	-	9.1	18.2	4.5
	要介護5	15	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	-	20.0	-	-
圏域生活	鳥栖地区	114	19.3	34.2	6.1	28.1	6.1	1.8	8.8	14.9	8.8
	田代基里地区	71	15.5	18.3	2.8	25.4	4.2	2.8	7.0	19.7	8.5
	若葉弥生が丘地区	55	16.4	23.6	5.5	36.4	7.3	3.6	14.5	21.8	9.1
	鳥栖西地区	107	17.8	22.4	6.5	29.0	4.7	3.7	12.1	27.1	8.4
主な介護者の性別	男性	82	17.1	24.4	3.7	20.7	4.9	-	7.3	20.7	7.3
	女性	257	18.3	26.5	5.8	31.9	5.1	3.5	11.7	20.6	8.9
	無回答	8	-	12.5	12.5	25.0	25.0	12.5	-	25.0	12.5
主な介護者の年齢	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	30代	3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-
	40代	25	12.0	28.0	-	20.0	-	-	4.0	16.0	8.0
	50代	66	25.8	36.4	7.6	30.3	4.5	3.0	9.1	21.2	9.1
	60代	111	18.9	29.7	3.6	29.7	5.4	2.7	12.6	16.2	8.1
	70代	73	16.4	20.5	5.5	26.0	6.8	1.4	8.2	23.3	8.2
	80歳以上	56	12.5	16.1	8.9	37.5	3.6	5.4	14.3	32.1	8.9
	わからない	4	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-
無回答	7	-	-	14.3	28.6	42.9	14.3	-	-	14.3	

	調査数〔人〕	主な介護者が不安に感じる介護										
		認知症への対応	トイレ（経管栄養等）	医療面での対応	食事の準備（調理等）	買い物（掃除、洗濯等）	その他の家事	継続に必要な生活	金銭管理や生活	その他	不安に感じない	確認できない
鳥栖市全体	347	28.2	4.3	13.3	8.4	10.4	4.0	8.6	0.6	10.4		
要介護度	要介護1	179	28.5	4.5	16.2	11.7	11.7	2.8	8.9	1.1	10.1	
	要介護2	94	30.9	3.2	12.8	6.4	8.5	3.2	8.5	-	5.3	
	要介護3	37	35.1	-	5.4	2.7	13.5	10.8	-	-	8.1	
	要介護4	22	13.6	9.1	13.6	4.5	4.5	4.5	4.5	-	27.3	
	要介護5	15	13.3	13.3	-	-	6.7	6.7	33.3	-	26.7	
圏域生活	鳥栖地区	114	28.9	2.6	14.0	8.8	11.4	4.4	8.8	0.9	7.0	
	田代基里地区	71	29.6	8.5	11.3	11.3	12.7	4.2	11.3	-	15.5	
	若葉弥生が丘地区	55	21.8	3.6	5.5	10.9	12.7	5.5	3.6	-	10.9	
	鳥栖西地区	107	29.9	3.7	17.8	4.7	6.5	2.8	9.3	0.9	10.3	
主な介護者の性別	男性	82	25.6	8.5	17.1	9.8	8.5	7.3	11.0	-	12.2	
	女性	257	29.6	3.1	12.5	8.2	10.9	3.1	8.2	0.8	8.6	
	無回答	8	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	50.0	
主な介護者の年齢	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20代	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	
	30代	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	
	40代	25	32.0	16.0	16.0	20.0	12.0	8.0	8.0	-	8.0	
	50代	66	39.4	6.1	9.1	10.6	9.1	1.5	1.5	-	7.6	
	60代	111	36.0	1.8	12.6	4.5	7.2	4.5	13.5	-	5.4	
	70代	73	19.2	5.5	16.4	9.6	9.6	6.8	11.0	1.4	9.6	
	80歳以上	56	10.7	1.8	17.9	8.9	16.1	1.8	7.1	-	17.9	
	わからない	4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	
無回答	7	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-	42.9		

## 5. 災害時や情報収集に関する調査結果

### (1) 避難が必要な場合の避難場所



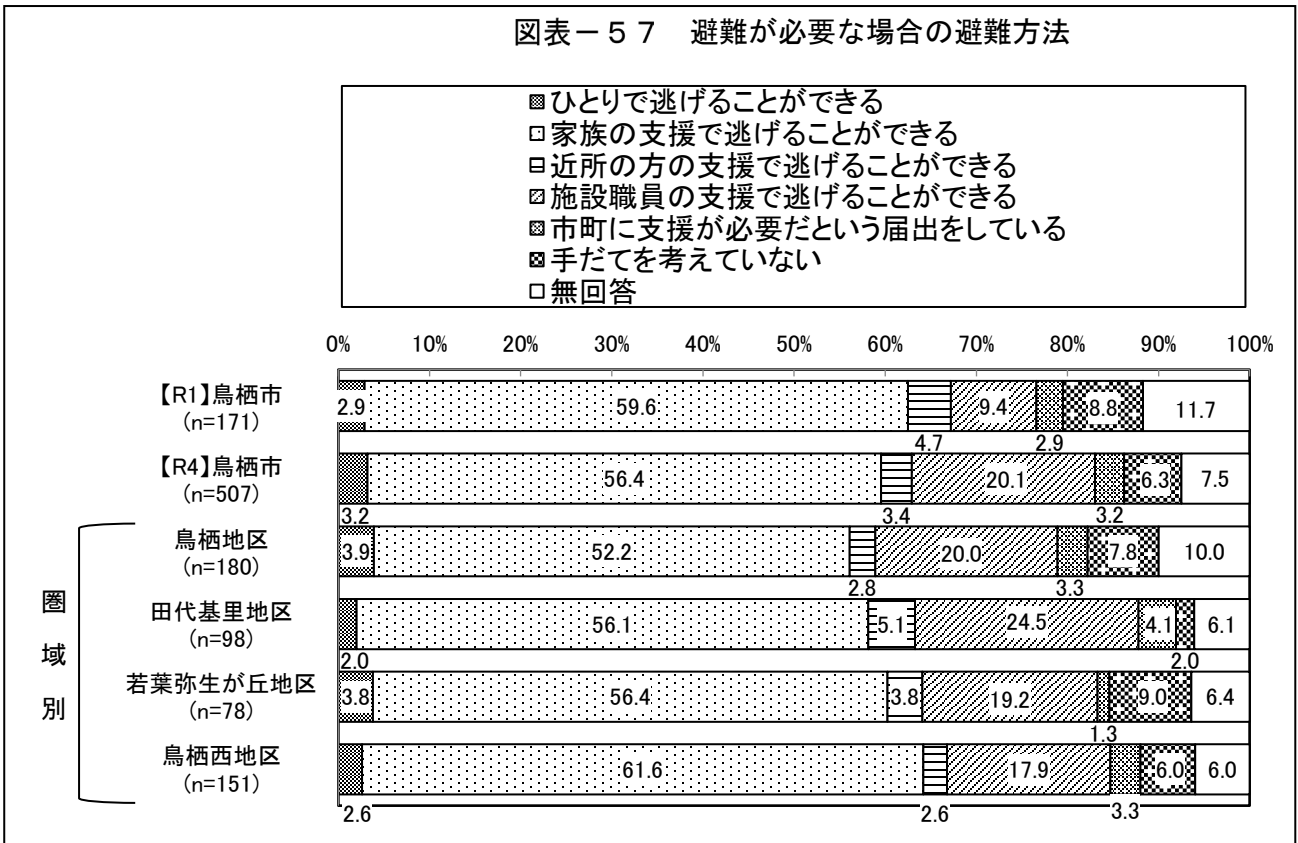
避難が必要な場合の避難場所についてたずねたところ、鳥栖市では「公民館などの公共の避難所に行く」の割合が44.8%と最も高く、次いで「家族や親せきの家に避難する」(30.0%)、「公共の避難所を知らないし、避難所がない」(4.5%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「家族や親せきの家に避難する」の割合は8.4ポイント増加している。

圏域別にみると、田代基里地区、若葉弥生が丘地区では「公共の避難所を知らないし、避難所がない」の割合が他の圏域に比べてやや高くなっている。

(2) 避難が必要な場合の避難方法

図表－５７ 避難が必要な場合の避難方法



避難が必要な場合の避難方法についてたずねたところ、鳥栖市では「家族の支援で逃げることができる」の割合が56.4%と最も高く、次いで「施設職員の支援で逃げることができる」(20.1%)、「手だてを考えていない」(6.3%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「施設職員の支援で逃げることができる」の割合は10.7ポイント増加している。

圏域別にみると、田代基里地区では「施設職員の支援で逃げることができる」の割合が24.5%、鳥栖西地区では「家族の支援で逃げることができる」の割合が61.6%と他の圏域に比べて高くなっている。

### Ⅲ. 成年後見制度に関するアンケート

#### 1. 調査の概要

##### (1) 調査の目的

本調査は成年後見制度の認知度及び活用意向を把握することを目的とする。

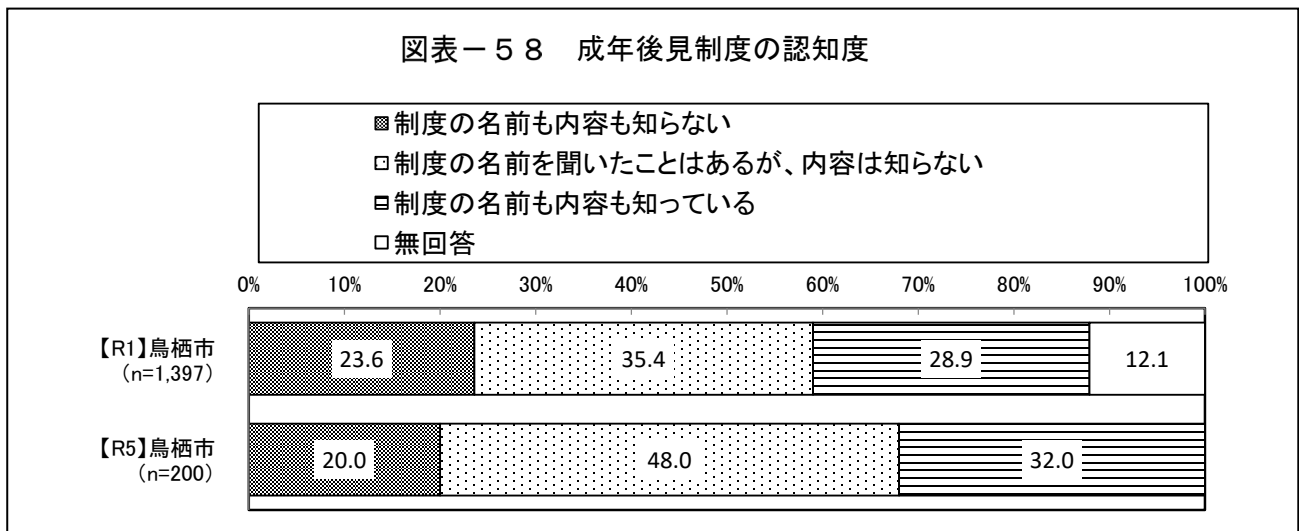
##### (2) 調査設計及び回収結果

調査対象	出前講座や介護予防事業に参加した高齢者
調査方法	講座や事業等参加者に直接配布・回収
有効回収数 (率)	200人
実施年月	令和5年7月

※調査結果は令和元年度調査の結果と比較しているが、令和元年度調査は「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に同封して実施したため、調査対象の選定方法が異なることに留意

#### 2. 調査結果

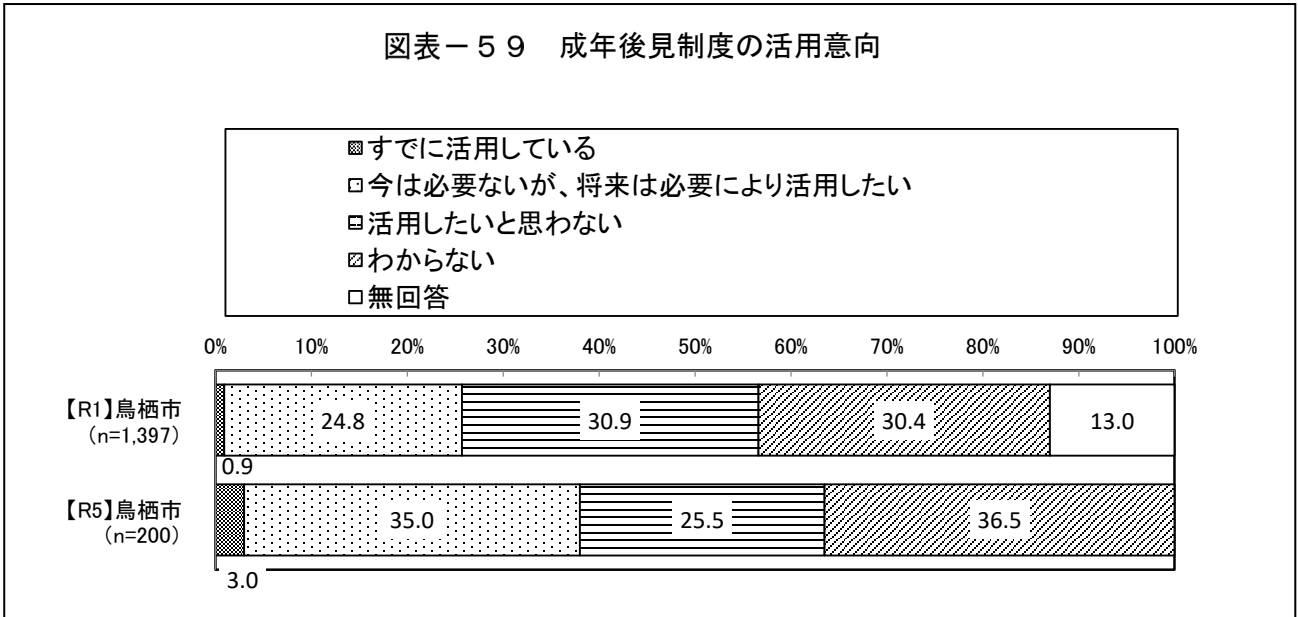
##### (1) 成年後見制度の認知度



成年後見制度の認知度についてたずねたところ、「制度の名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が48.0%と最も高く、次いで「制度の名前も内容も知っている」(32.0%)、「制度の名前も内容も知らない」(20.0%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「制度の名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合は12.6ポイント、「制度の名前も内容も知っている」は3.1ポイント増加している。

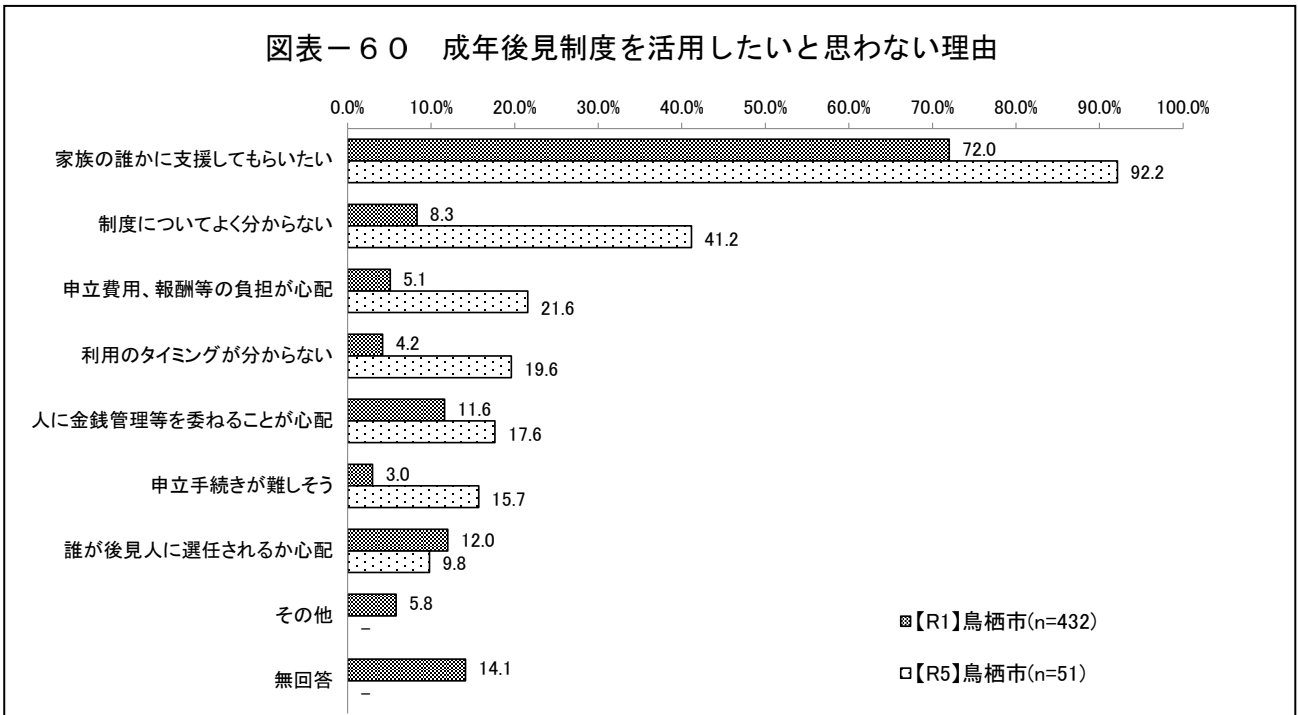
(2) 成年後見制度の活用意向



成年後見制度の意向についてたずねたところ、鳥栖市では「わからない」の割合が36.5%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来は必要により活用したい」(35.0%)、「活用したいと思わない」(25.5%)、「すでに活用している」(3.0%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「今は必要ないが、将来は必要により活用したい」の割合は9.2ポイント増加している。

(3) 成年後見制度を活用したいと思わない理由



成年後見制度を活用したいと思わない理由についてたずねたところ、「家族の誰かに支援してもらいたい」の割合が92.2%と最も高く、次いで「制度についてよくわからない」(41.2%)、「申立費用、報酬等の負担が心配」(21.6%)となっている。

令和元年度調査と比較すると、「家族の誰かに支援してもらいたい」の割合は20.2ポイント増加している。